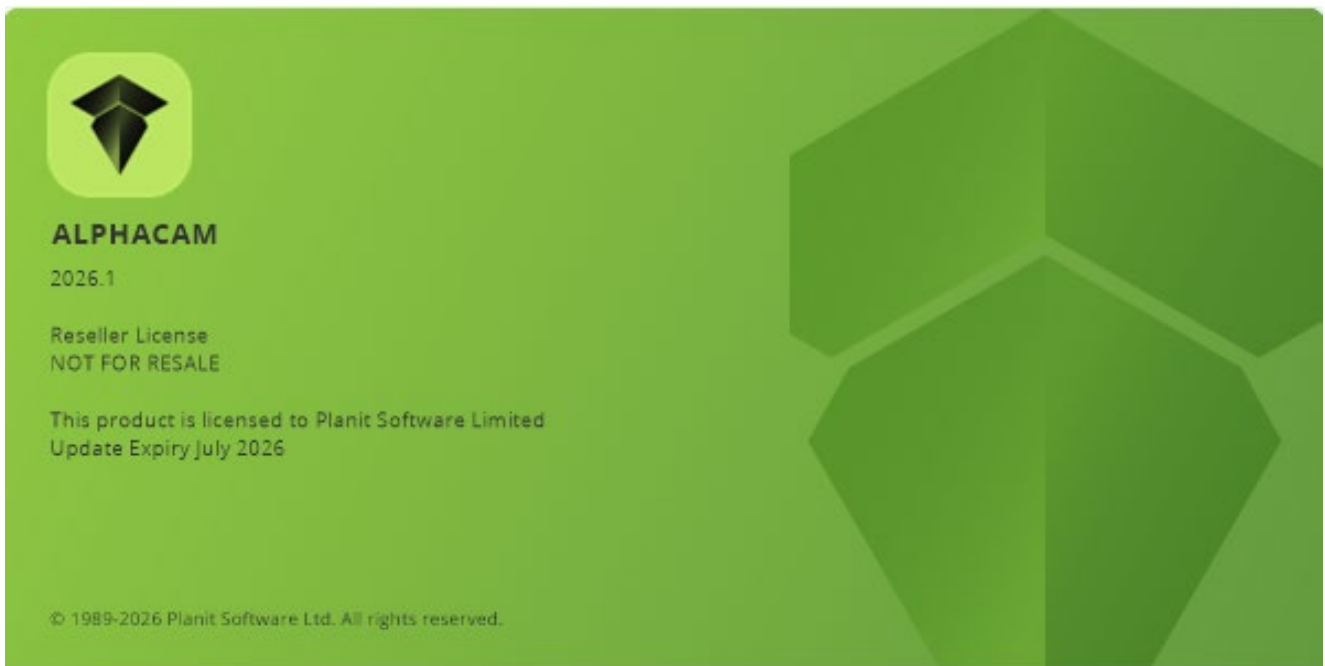


ALPHACAM 2026.1 新機能紹介



Loading Add-ins...



本テキストは ALPHACAM2025.2~2026.1 の新機能紹介をまとめたものです
記載されている項目のバージョンは目次およびヘッダーで確認してください

目次

ALPHACAM2025 の便利な新機能の YouTube 動画リンク:	1
2026.1	1
2025.4	1
2025.3	1
2025.2	1
---- Ver 2026.1 ----	2
加工	2
スプライン/ポリライン加工 - コマンド名変更およびソリッドエッジのサポート	2
3D 加工 - 同時 4 軸 - ノコギリによる円筒面回り仕上げの追加(ルータ/ミル/ストーン) ...	3
各加工コマンドのダイアログ - 無効な項目のツールチップ表示.....	6
シミュレーション	7
ソリッドシミュレーション - 素材を削除/保持	7
CAD	8
CAD データ出力 - IGES (Solids) のサポート	8
三次元 - 作業空間設定 - Z レベルのピックボタン追加.....	8
---- Ver 2025.4 ----	9
加工	9
スプライン/ポリライン加工 - 3D リードイン/アウト設定の保持	9
加工編集 - サポートタグ- タグタイプ: 台形の追加	10
輪郭加工 - 切残し部のみを加工する - 最小切残し切削経路長さ	11
ソリッドシミュレーション	13
ソリッドシミュレーション - 素材の修復/キャンセルダイアログの追加	13
ソリッドシミュレーション - 旋盤 - 新しいソリッドシミュレーション	14
全般	15
線幅 - ハイライト表示時に線幅を適用.....	15
スタイル - 編集した工程名でスタイル保存.....	16

CAD	17
ソリッド抽出 - エッジ指定輪郭抽出・3D エッジ抽出 - エッジの再選択	17
編集 - 距離で分断 - 終点からの距離で分断	17
ネスティング	18
ネスティング - 面積見積 - ネスト済みシート	18
---- Ver 2025.3 ----	19
インストール全般	19
Hexagon Universal Updater およびインストーラー	19
無償アドイン	22
バージョンダウンして保存	22
距離で一括延長	22
クイックネスト - ネストリスト機能の追加	23
ソリッドシミュレーション	24
ソリッドシミュレーション - 情報リストに工程注記, クーラント設定が追加	24
パーツ比較 - 設定およびデフォルトの読み込み/保存	25
パーツ比較 - 複数パーツの比較をサポート	25
プロジェクトマネージャ	26
工程 - 工程順変更の改善およびコメントの追加/編集	26
工程 - 工程の名前変更	27
工程 - 形状/3D モデルの追加の改善	27
工程 - 選択工程の一括表示/非表示	28
スタイル - ドリル/タップ自動 Z - 工具の最大深さに関するダイアログの表示	28
プロジェクトマネージャ - テキスト, サーフェス, スプラインの名前変更	28
---- Ver 2025.2 ----	29
2D リードイン/アウト	29
2D リードイン/アウト - 開始と終了を円中心にする	29
ポケット加工 / 等高線荒加工	30
ポケット加工 / 等高線荒加工 - 傾斜リードインの改善	30
ポケット加工	31

ポケット加工 - 輪郭加工(径補正 G41/G42)による最終切削オプション	31
3D 加工.....	32
3D 加工 - 大規模モデルにおける工具経路計算時間の改善.....	32
工具定義.....	34
工具定義 - 底刃での切削が可能オプションと最大プランジ深さの追加.....	34
ツールライブラリ	35
ツールライブラリ - 底刃での切削と最大プランジ深さの追加	35
ソリッドシミュレーション.....	36
ソリッドシミュレーション - パーツ比較.....	36
ソリッドシミュレーション - 断面 - 比較モデルを表示.....	37
ソリッドモデル	38
ソリッドモデル - フェースセクタ - 同じ直径の円筒.....	38
フィーチャ抽出	39
フィーチャ抽出 - 最小となる境界ボックスを使用する.....	39
旋盤.....	40
旋盤 - ソリッドシミュレーション - 新しいシミュレータに対応.....	40
旋盤 - 画面からピックボタンの追加.....	41
旋盤 - 工具定義 - ターニング工具のクーラントオプション追加.....	42
ラジアルメニュー.....	43
ラジアルメニュー - 初期設定の改善.....	43
パラメトリックスケッチ	44
パラメトリックスケッチ - アンドゥ/リドゥと図面クリアの追加.....	44
パラメトリックスケッチ - 使用可能な変数の数の増加.....	45
パラメトリックスケッチ - フィレット- T型フィレットの追加.....	46
パラメトリックスケッチ - コメント機能の追加.....	47
CAD - 2D 作図.....	48
形状 - 開要素設定 - 開要素のレンダー表示.....	48
寸法.....	49
寸法 - その他の単位 - 単位の倍率の改善.....	49

ネスティング	50
ネスティング - ネストリスト、パーツ、シートを出力する	50
ネスティング - クイックネスト - Vero ネスティングの追加	51
レポートデザイナー	53
レポート - グラフィック定義 - ネストされた部品配置キャプチャ	53
一般設定	56
一般設定 - クランプとフィクスチャのレイヤ色	56
メンテナンスレポート	57
サポートされている CAD ファイルバージョン	59
サポートされている CAD ファイルバージョン	59
必要システム構成	60
オペレーティングシステム(OS)	60
Microsoft .NET Framework	60
グラフィック	61
ROM	61
ネットワーク接続環境	61
ライセンスアクティベーション	61
インストール	61
WEB ブラウザ	61
Windows ARM	61
ALPHACAM のインストール	62
1: システムとハードウェア要件を確認	62
2: 管理者アカウントでログイン	62
3: ALPHACAM のダウンロード（インストール用 USB が無い場合のみ）	62
4: ALPHACAM のインストール	62
ALPHACAM のアップデート	63
お問い合わせ	63

ALPHACAM2025 の便利な新機能の YouTube 動画リンク：**2026.1**[Cut 3D Path – Direct Solid Edge Selection for Efficient 5-Axis Machining](#)[Cylindrical Profiling with Disk – High Efficiency 4-Axis and Lathe Axis Machining with Disk Tools](#)**2025.4**[New Usability Improvements for 3D Edge Extraction](#)[Cut Path, Minimum Length Parameter for Maximum Efficiency](#)**2025.3**[Quick Nest Enhancements](#)[Introducing the Hexagon Universal Updater](#)**2025.2**[Solid Simulation Part Compare](#)[Pocketing Simple Finish and Leads Start at Circle Center](#)[Minimum Bounding Box Alignment](#)

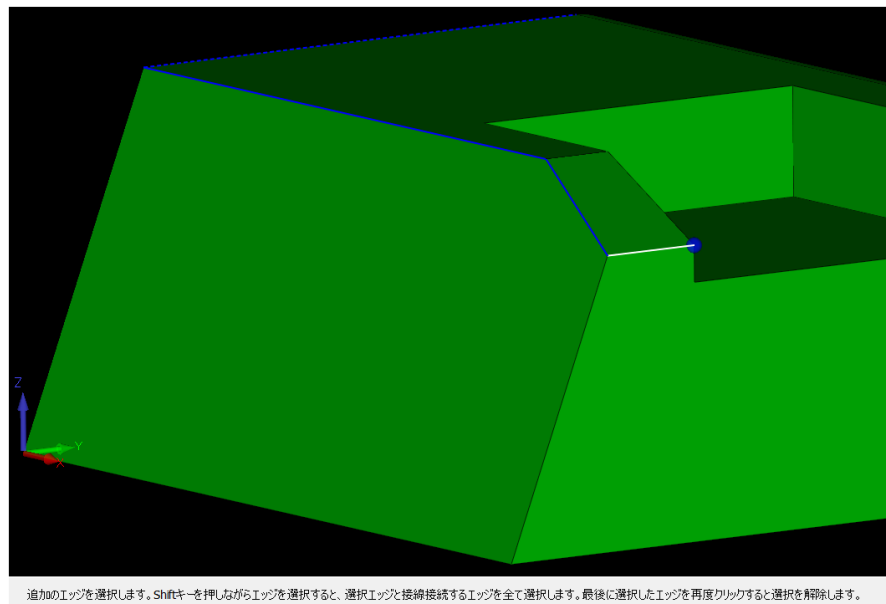
---- Ver 2026.1 ----

加工

スプライン/ポリライン加工 - コマンド名変更およびソリッドエッジのサポート

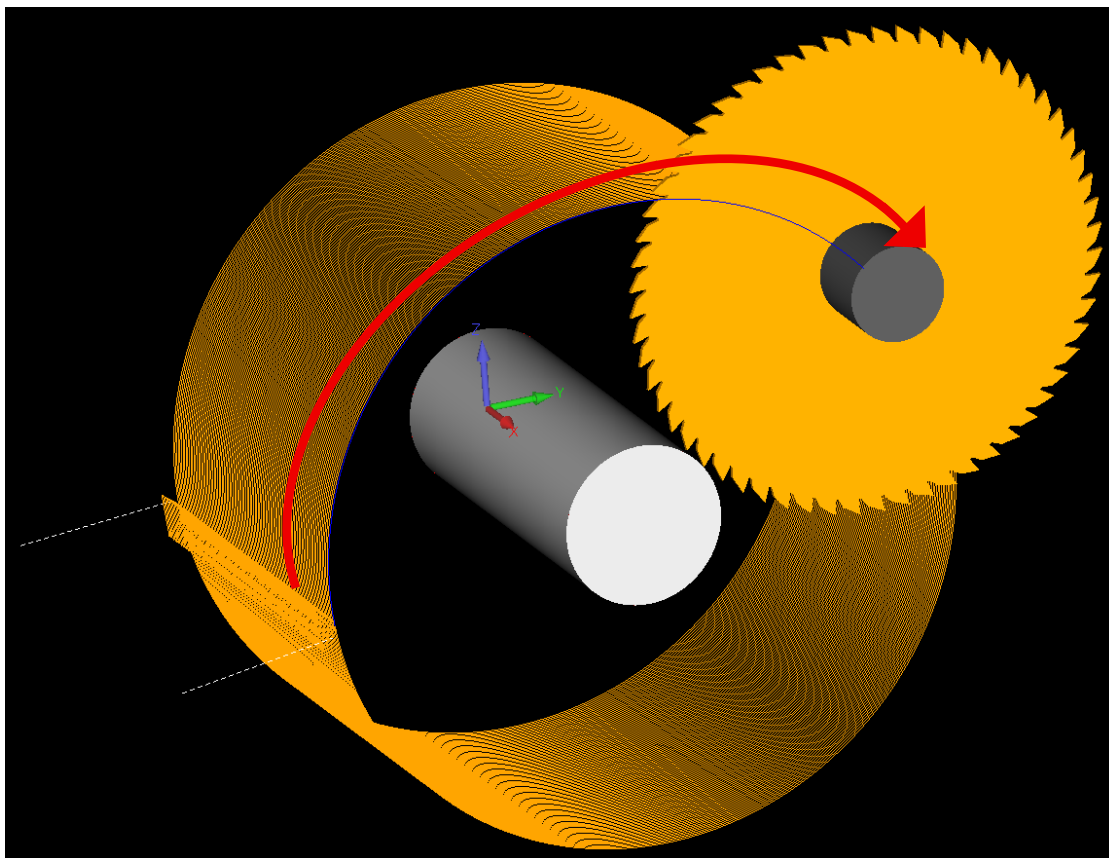
スプライン/ポリライン加工は『3D パス加工』に名称が変更されました。

また、加工対象としてソリッドエッジを選択することが出来るよう改善され、事前にポリラインを抽出する必要がなくなりました。



3D加工 - 同時4軸 - ノコギリによる円筒面回り仕上げの追加(ルータ/ミル/ストーン)

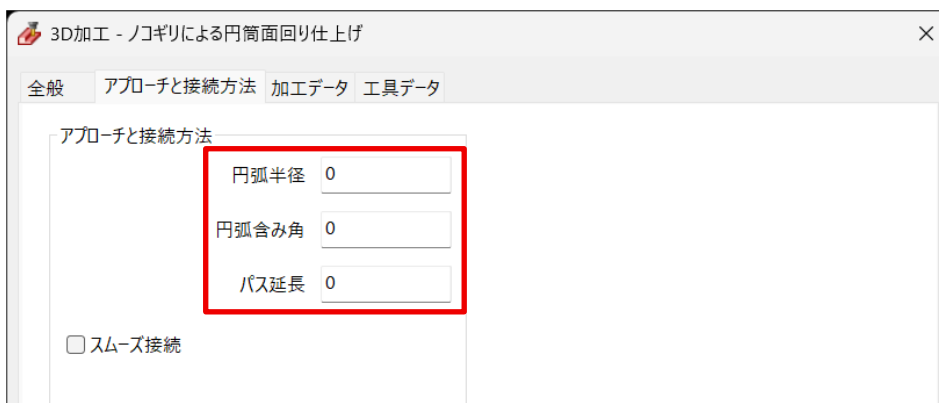
ライセンスに同時5軸オプションが含まれている場合、**3D加工 | タイプ:4軸(加工対象が旋回)**が追加され、ノコギリ工具の側面を使用した円筒面回り仕上げが可能になりました(回転体の製品に対応)



注記：ポストが対応している必要があります。

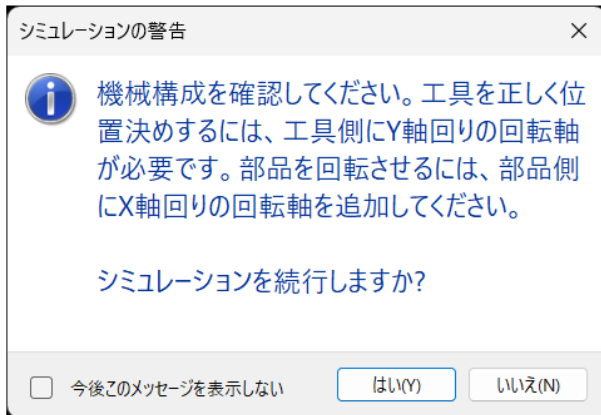


- 回転軸 — パーツの回転軸(X,Y,Z 軸のいずれか)を指定します
- 加工角度 — リードイン角度を指定します(0 度で回転軸から見た際の 3 時方向)
*この設定はポスト内で処理されるため、工具経路の見た目は変更されません
- ヘッド位置を反転 — 主軸ヘッド(工具)の傾斜角を反転します

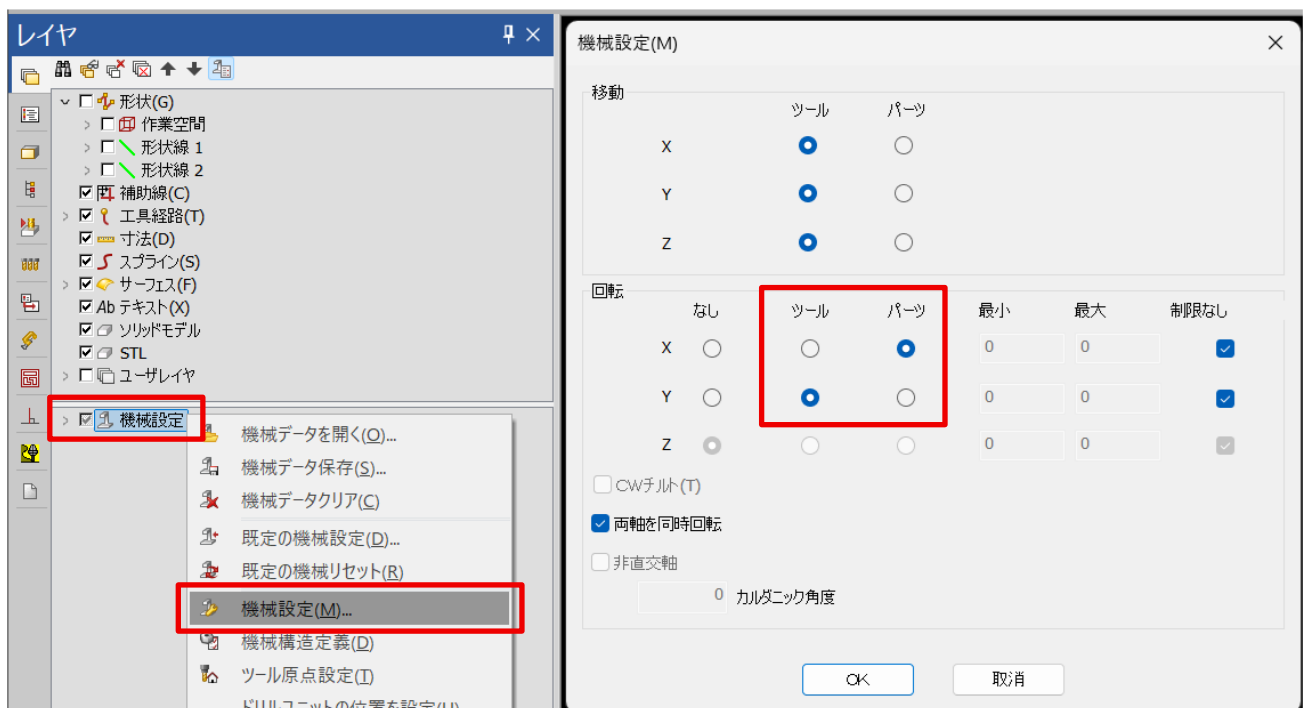


- 円弧半径 — リードイン/アウトおよび工具経路間を円弧で接続する際の円弧半径を指定します
- 円弧含み角 — リードイン/アウトおよび工具経路間を円弧で接続する際の円弧含み角を指定します
- パス延長 — 切り込み長を指定します

この工程をシミュレーションする際、機械設定が正しく無い場合は以下のような警告が表示されます。



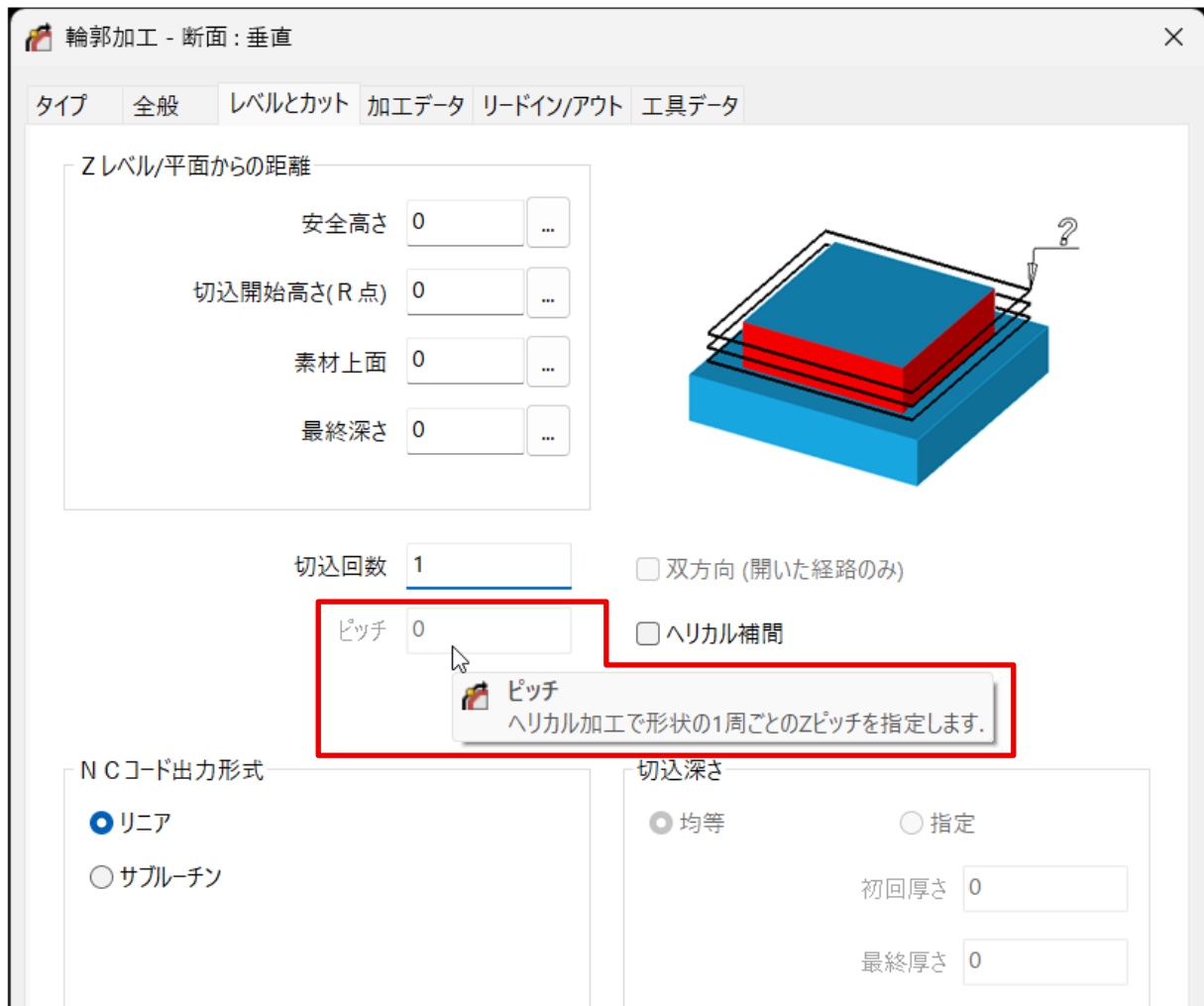
警告が表示された場合は工具が正しい姿勢でシミュレーション出来ないため、実際の機械に合わせて機械設定を変更する必要があります(下図は材料が X 軸回りに旋回する機械設定の一例)



- 回転軸が X 軸 — パーツ : X 軸, ツール : Y 軸
- 回転軸が Y 軸 — ツール : X 軸, パーツ : Y 軸
- 回転軸が Z 軸 — 機械設定の変更無しでも可能

各加工コマンドのダイアログ - 無効な項目のツールチップ表示

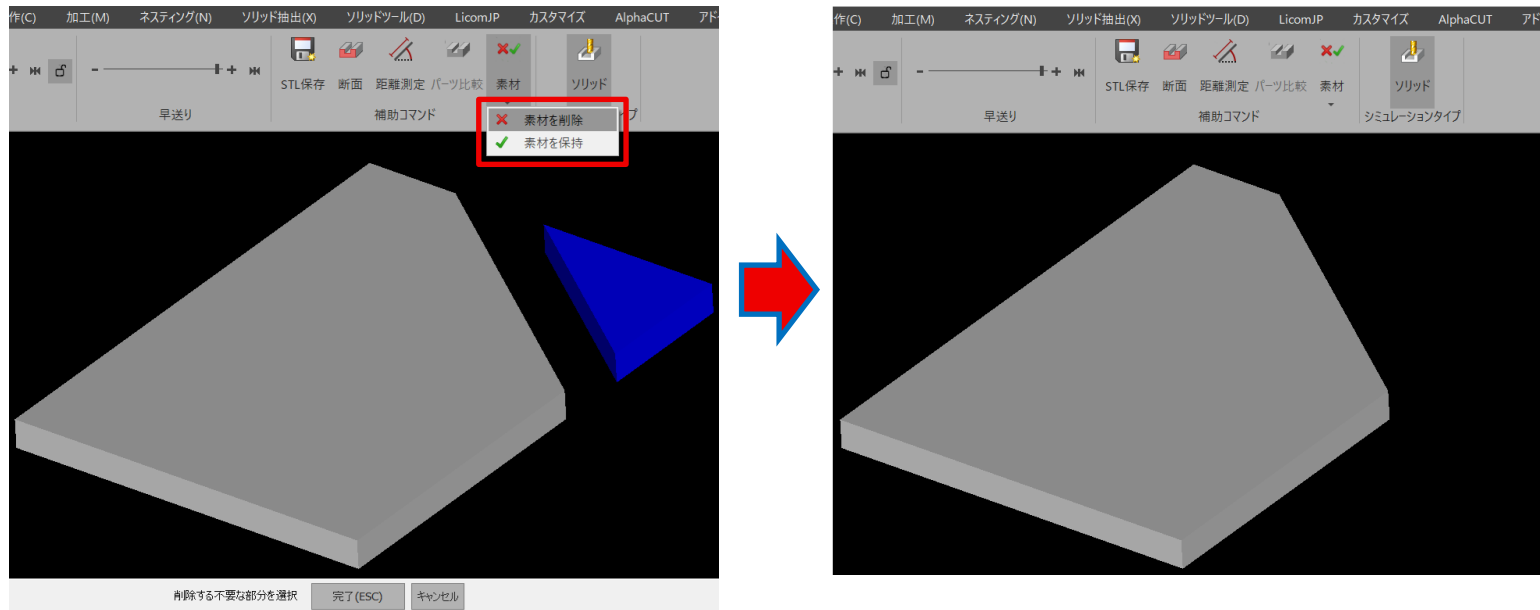
各加工コマンドのダイアログにて表示されるツールチップ(チェックボックスやテキストボックス等の上にマウスカーソルを移動させると表示される簡易ヘルプ)が、無効の状態となっている項目に関しても表示するように改善されました。



シミュレーション

ソリッドシミュレーション - 素材を削除/保持

新しいソリッドシミュレーションにおいて、シミュレーション後に素材が切断されて端材となった箇所の表示をオフにすることが出来るようになりました。



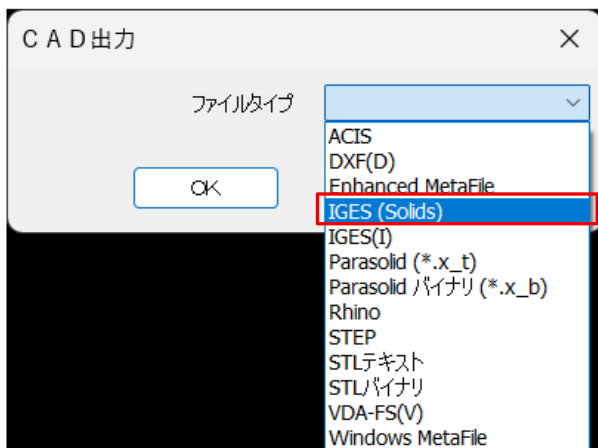
- 素材を削除 - 選択した素材の表示をオフにします
 - 素材を保持 - 選択した素材のみ表示し、未選択の素材全ての表示をオフにします
- *素材の削除/保持をリセットする場合はシミュレーションの巻き戻しを行ってください

CAD

CAD データ出力 - IGES (Solids) のサポート

ホーム | CAD | CAD データ出力にファイルタイプ : IGES(Solids)が追加され、ALPHACAM 図面内に作成されているソリッドモデルを IGES データとして出力することが出来るようになりました。

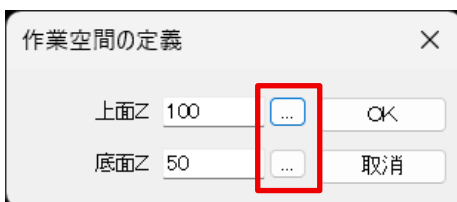
従来の IGES(I)はサーフェス/形状を含み、IGES(Solids)はソリッドモデルのみを含む CAD データとして出力されます。



注記 : IGES(Solids)を出力すると、IGES ファイルとそのログファイルも同時に作成されます

三次元 - 作業空間設定 - Z レベルのピックボタン追加

作業空間設定において、各加工コマンド内の高さ設定等や素材設定と同じく図面内から座標値をピックして取得できるように改善されました。

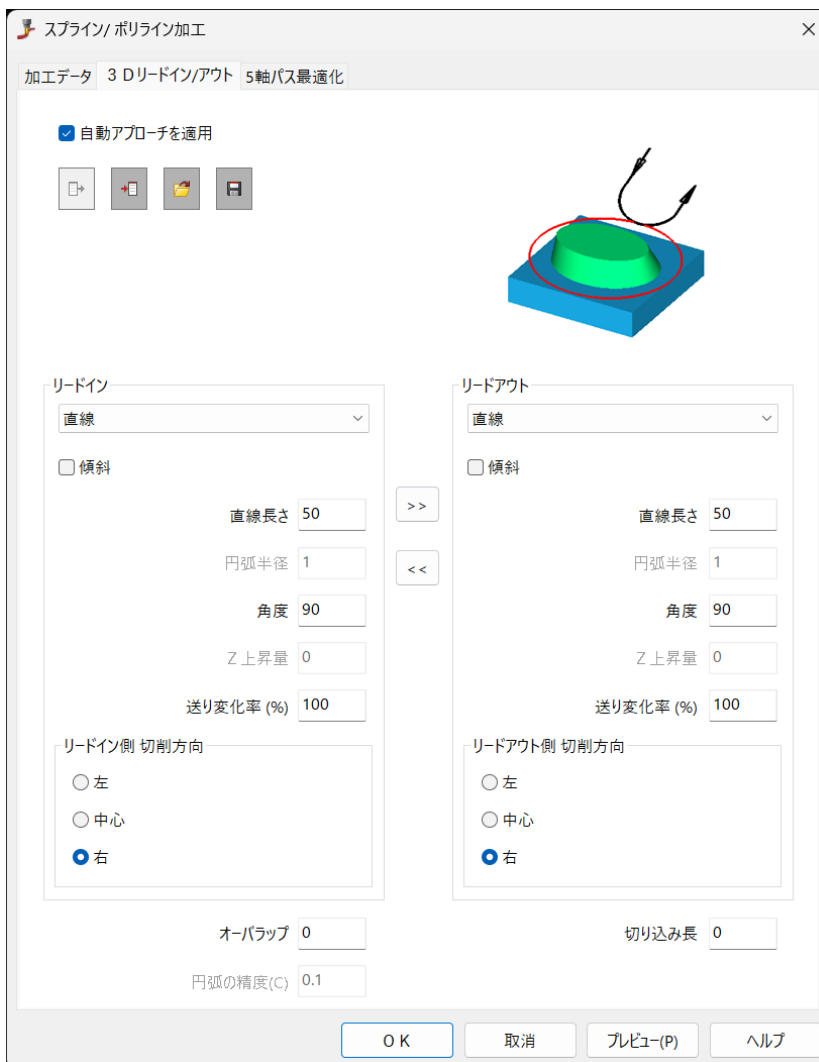


---- Ver 2025.4 ----

加工

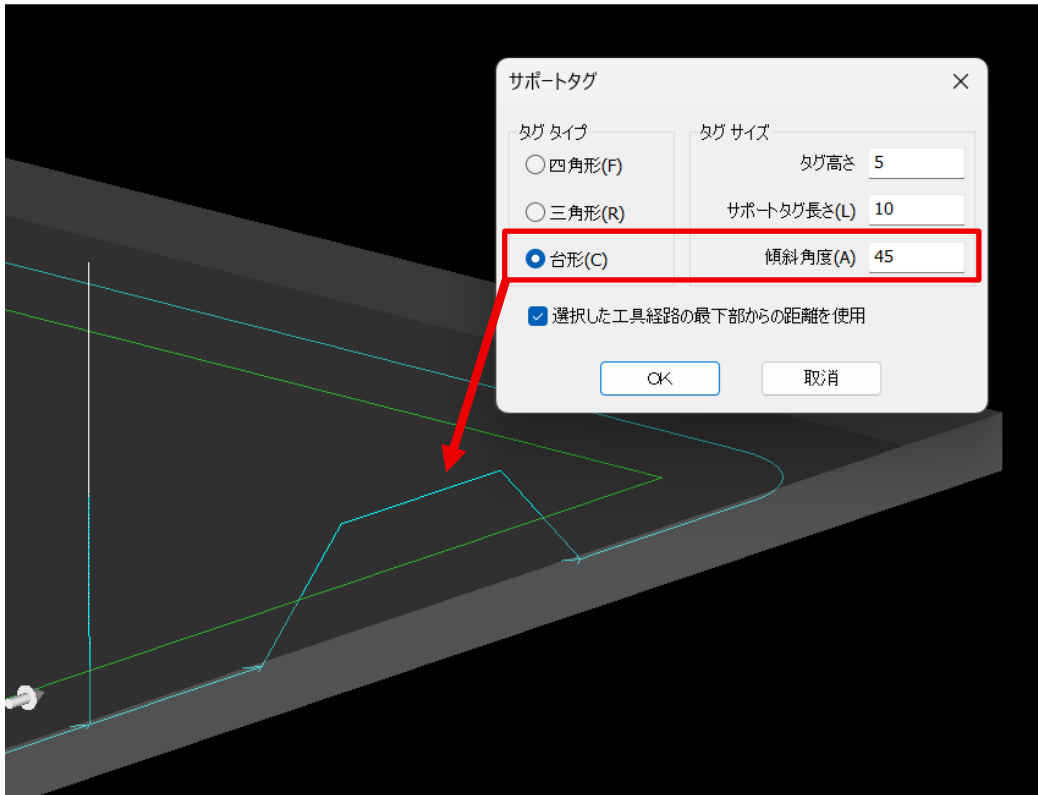
スプライン/ポリライン加工 - 3D リードイン/アウト設定の保持

スプライン/ポリライン加工を新規作成した際の3D リードイン/アウトの設定を保持するように改善されました。ALPHACAM 起動中は次回以降のスプライン/ポリライン加工の新規作成時に保持された設定が初期設定として適用されます。



加工編集 - サポートタグ- タグタイプ:台形の追加

サポートタグのタグタイプに台形が追加されました（自動サポートタグ内の機能と同等）
傾斜角度は0度より大きく90度未満である必要があります。



台形時のサポートタグ長さは台形底辺の長さで、工具直径とサポートタグ長さの合計値は台形の斜辺の長さの2倍より大きい必要があります。2倍以下の場合には台形を作成できないためエラーメッセージが表示されます。

輪郭加工 - 切残し部のみを加工する - 最小切残し切削経路長さ

輪郭加工で切残し部のみを加工する際に最小切残し切削経路長さを設定することで、指定した長さ未満の工具経路が作成される切残し部の加工を除外することが出来るようになりました。

輪郭加工 - 断面: 垂直 ×

全般 | レベルとカット | 加工データ | リードイン/アウト | 工具データ

工具

工程番号

工具: スクエアエンドミル - 10MM



径補正

工具中心座標

工具径補正 (G41/42)

摩耗量補正 (G41/42)

早送りリードイン/アウトに径補正を適用

切残し部のみを加工する(P)

オーバーラップ

XYコーナー

丸め

直線

ループ

最小切残し切削経路長さ

ループ

ループ半径

ナイフループ

角度がこの値より小さい場合はループにする

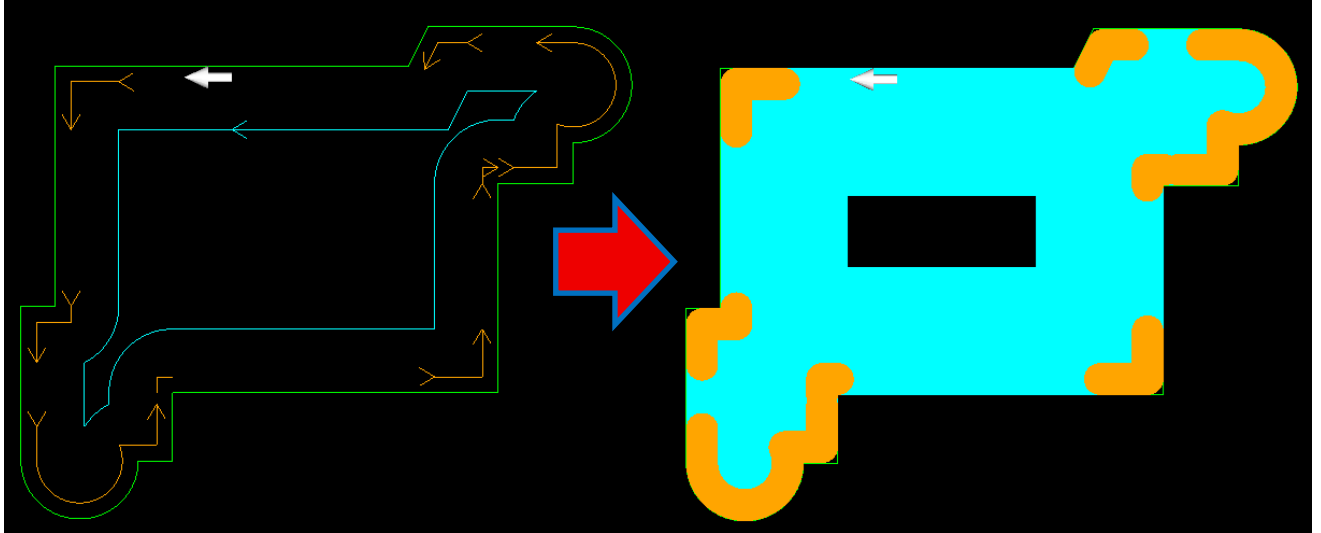
終点予備切り(開形状、一部オプション)

長さ

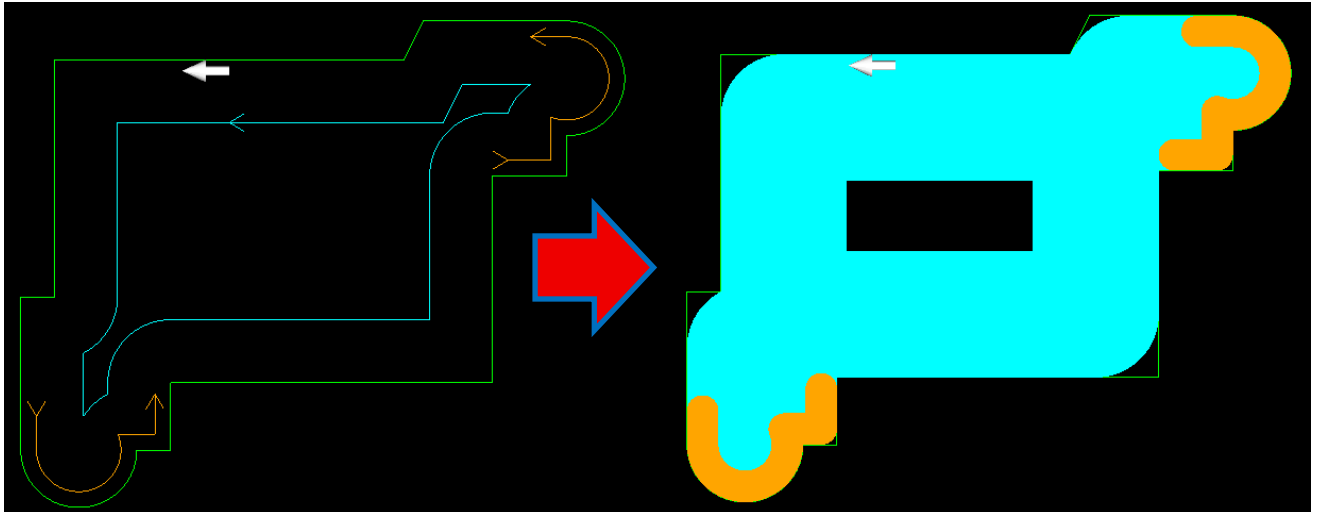
注記：切残し部のみを加工するは前工程の輪郭加工に対して適用されます

例として、下図のような形状の場合に切残り部全てを加工すると、左上の直角部など仕上げ用の工具半径値分の切残しが必ず残ってしまうような箇所も加工されます。

- ・切残り部全てを加工



- ・最小切残り切削経路長さを設定し R 部付近のみを加工

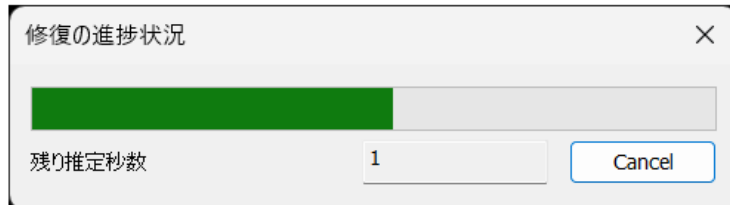


上図のように仕上げが不要な部分を作成される工具経路の長さで除外し、加工を省略することで加工時間を短縮することが出来ます。

ソリッドシミュレーション

ソリッドシミュレーション - 素材の修復/キャンセルダイアログの追加

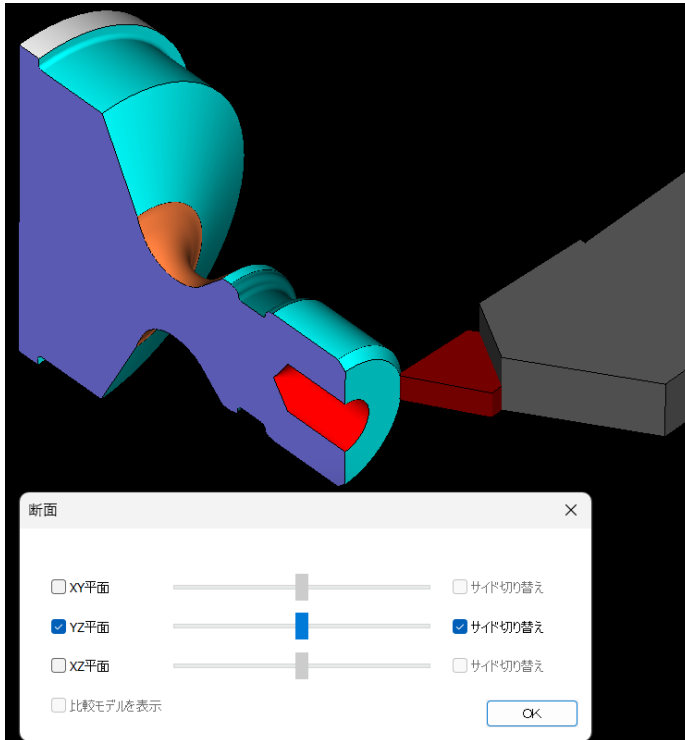
ALPHACAM 2025.4 はソリッドシミュレーションにおいて、素材の修復が必要な場合にその進捗度の表示とキャンセルを行うダイアログが表示される場合があります。修復が必要な素材が複数個ある場合、ダイアログは素材毎に順に表示されます。



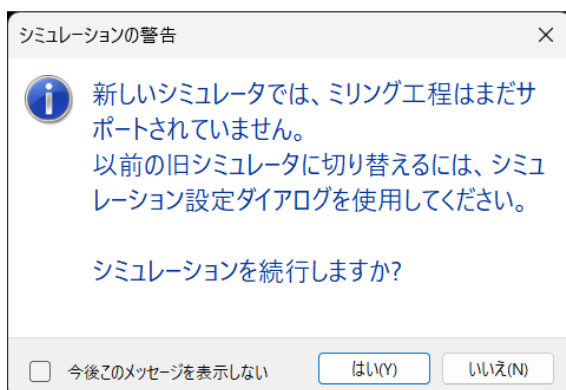
キャンセルまたは閉じるボタンを押下すると現在の素材の修復をスキップして次の素材へ移行します。最後の素材の修復をスキップした場合はそのままソリッドシミュレーションへ移行します。

ソリッドシミュレーション - 旋盤 - 新しいソリッドシミュレーション

旋盤モジュールにおいて新しいソリッドシミュレーションは 2025.4 において開発中ですが、テスト機能として使用することが出来ます。シミュレーション中の断面作成に対応しているため、切削中の製品断面や内部の状態の確認が容易に行えます。



注記：工程に CY 軸ミリング加工が含まれている場合、以下のメッセージが表示されます。CY 軸ミリング加工は完全にサポートされているわけではなく、正常にシミュレーション出来ない可能性があります。シミュレーションが異常な場合は旧ソリッドシミュレータに切り替えてください。

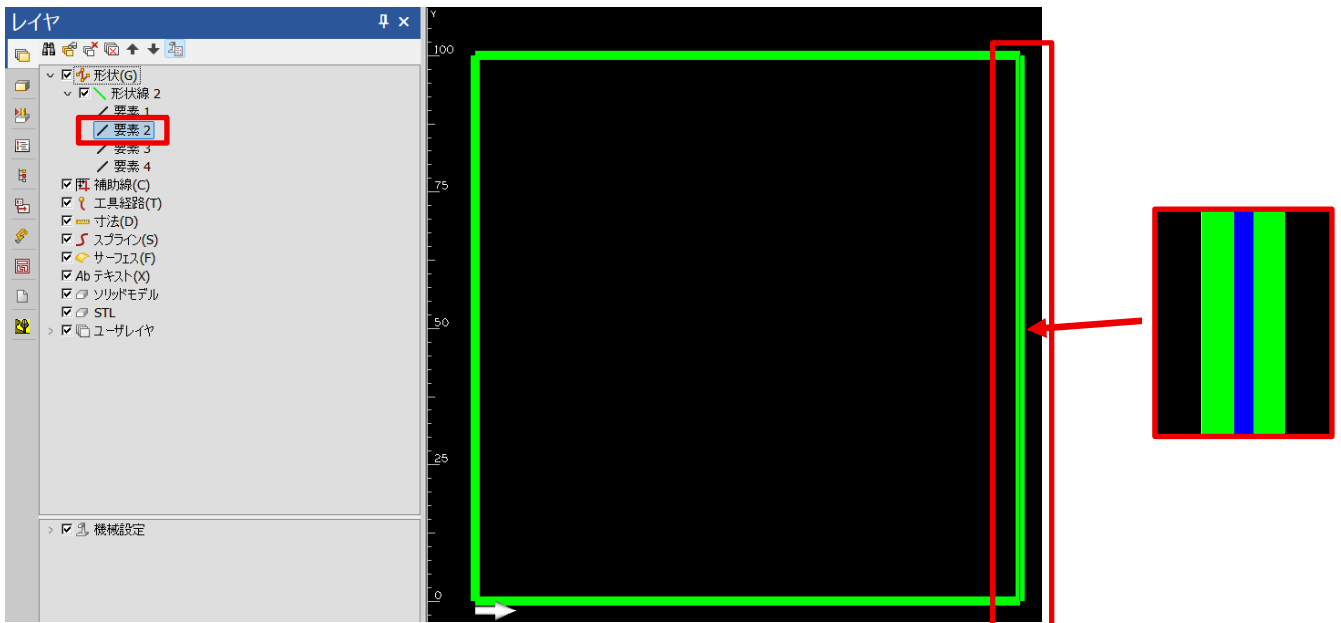


全般

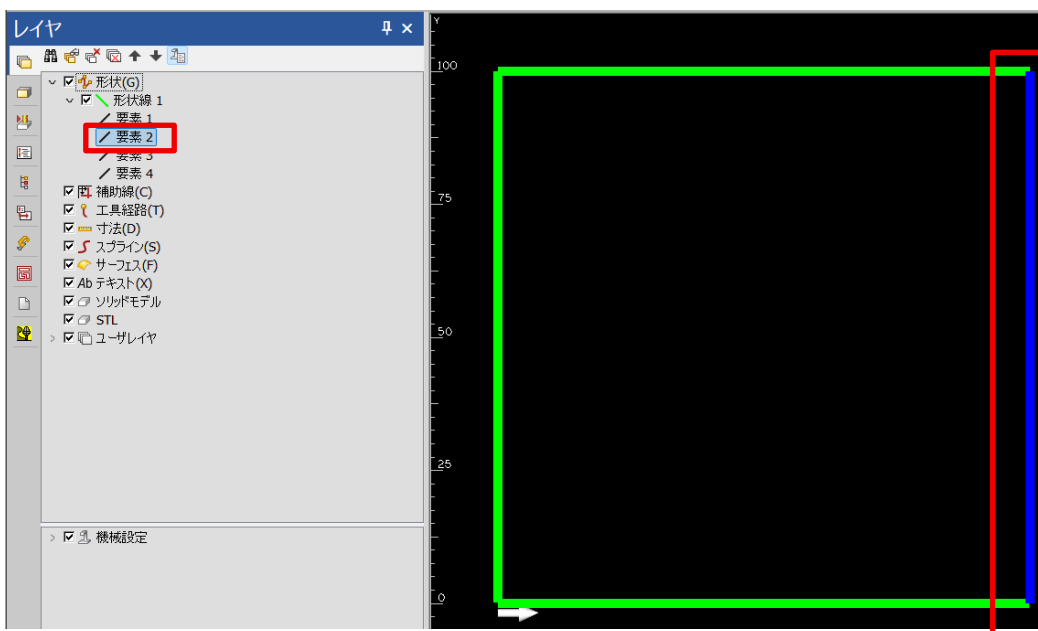
線幅 - ハイライト表示時に線幅を適用

従来は線幅の設定で表示上太く設定されている形状や要素を移動等のコマンドで選択した際にハイライト表示する場合でも1ピクセルでハイライトされていたりますが、線幅全体をハイライトするように改善されました。下図はプロジェクトマネージャのレイヤにて形状の要素をクリックしてハイライト表示した場合の一例です。

- ・従来のハイライト表示 線幅が太くてもハイライト時は1ピクセルの細線でハイライトされる

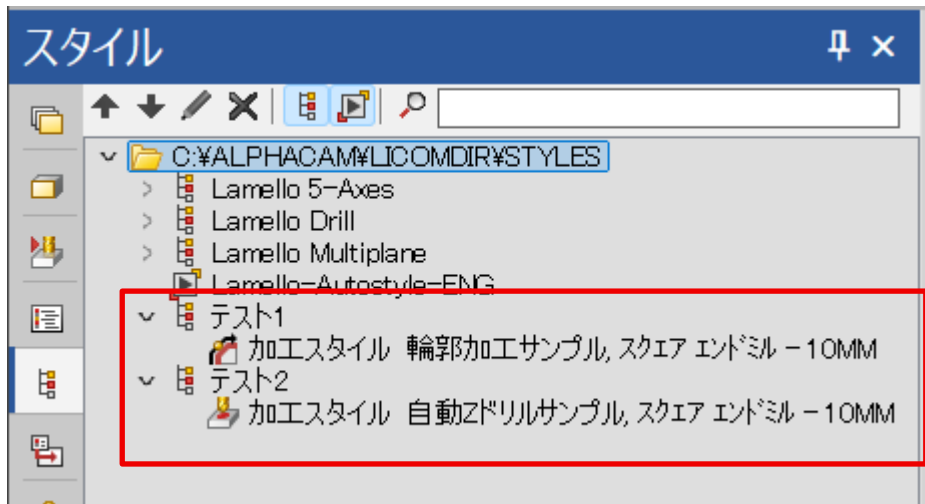


- ・2025.4におけるハイライト表示 線幅が太い場合もそのままハイライト表示される



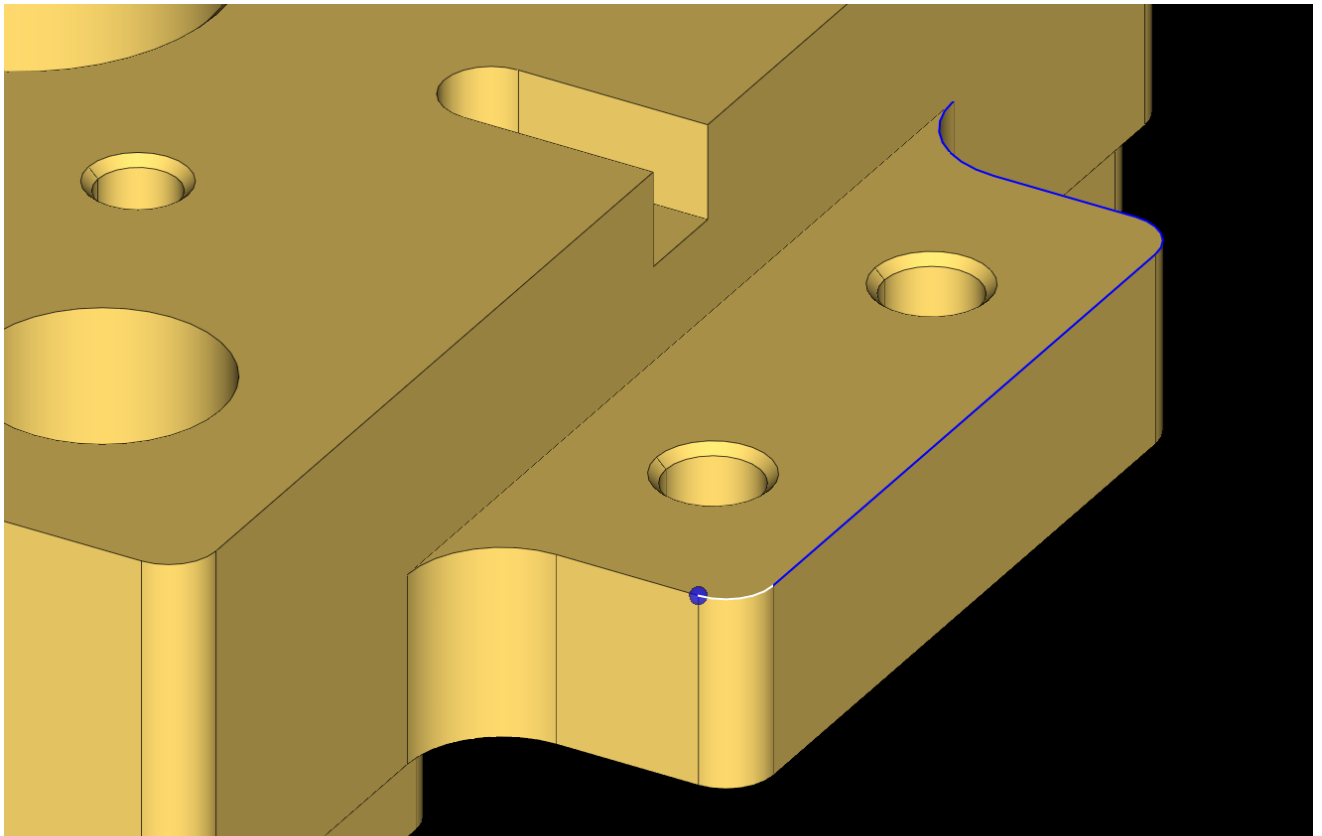
スタイル - 編集した工程名でスタイル保存

工程名編集後にスタイル保存した場合に、プロジェクトマネージャのスタイルページにて編集した各工程名をそのまま表示するように改善されました。



CAD**ソリッド抽出 - エッジ指定輪郭抽出・3D エッジ抽出 - エッジの再選択**

エッジ指定輪郭抽出・3D エッジ抽出において、最後に選択したエッジの再選択が可能になりました。最後に選択したエッジは白くハイライトされているため、キャンセルする場合は該当エッジ上をクリックしてください。また、青丸のマーカは抽出後の形状の開始点を示しています。



追加のエッジを選択します。Shiftキーを押しながらエッジを選択すると、選択エッジと接線接続するエッジを全て選択します。最後に選択したエッジを再度クリックすると選択を解除します。

SHIFT キーを押下しながらエッジをクリックした場合、選択したエッジと接線接続しているエッジ全てが1度に選択されます。

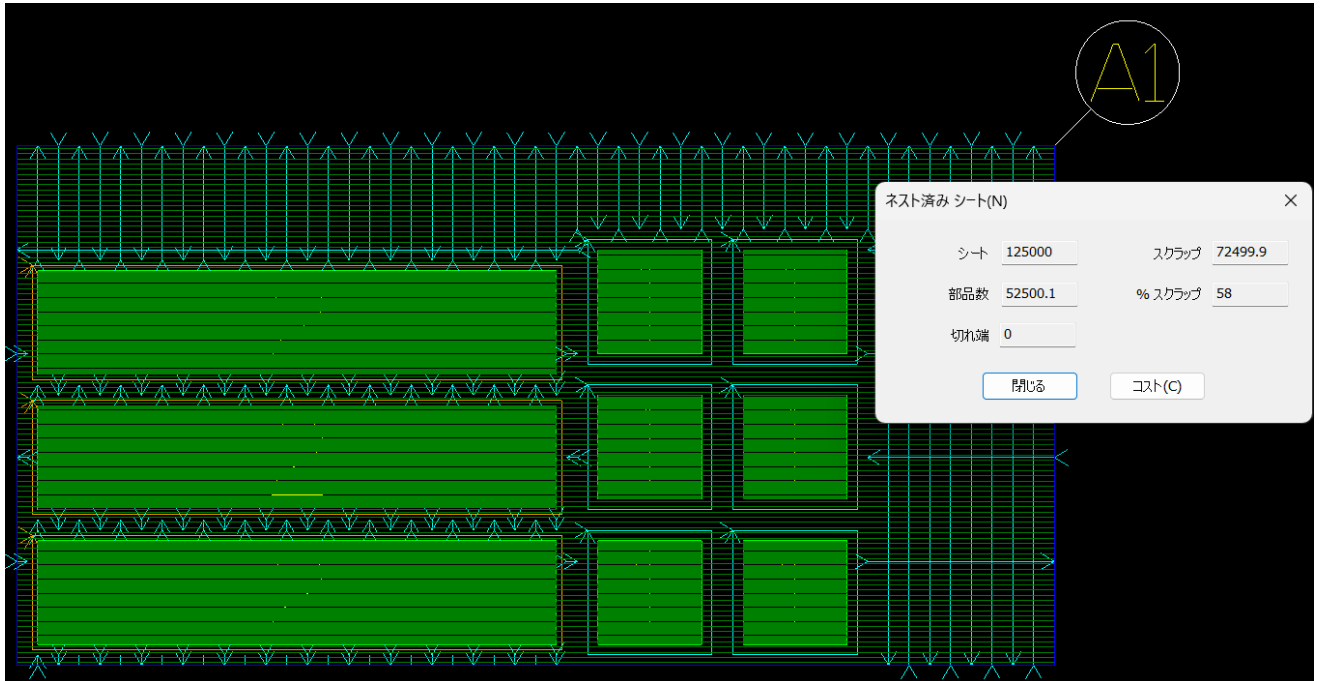
編集 - 距離で分断 - 終点からの距離で分断

距離で分断時に、終点寄りで形状をクリックすると終点側からの距離で分断することが出来るようになりました。この機能は**等分に分断**以外で有効です。

ネスティング

ネスティング - 面積見積 - ネスト済みシート

ネスト済みシートに切れ端のパラメータが追加され、スクラップ率の計算が改善されました。



---- Ver 2025.3 ----

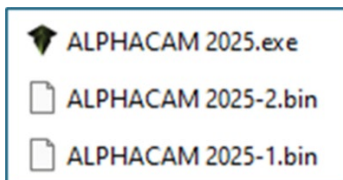
インストール全般

Hexagon Universal Updater およびインストーラー

ALPHACAM 2025.3 では Hexagon Universal Updater が導入され、Hexagon 製品の最新版へのアップデートが容易になり（Hexagon Universal Updater は ALPHACAM に付随して自動でインストールされます）新機能紹介、Hexagon ユーザーフォーラムへのアクセスも使用できます。



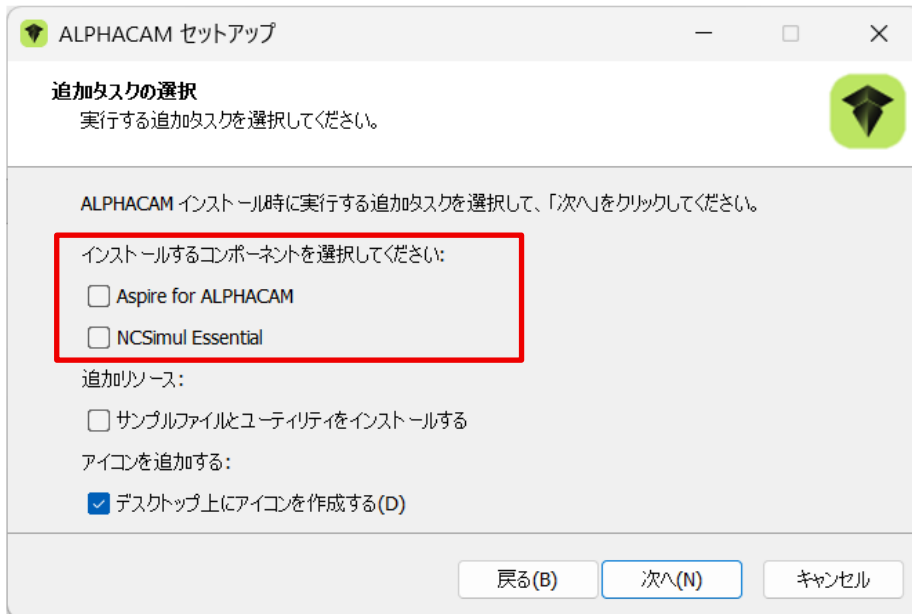
Hexagon Universal Updater でダウンロードしたインストーラーは、C:\ProgramData\Hexagon\Universal Updater\DownloadCache に保存され、ALPHACAM のインストーラーは下図のように 3 つのファイルで構成されます。



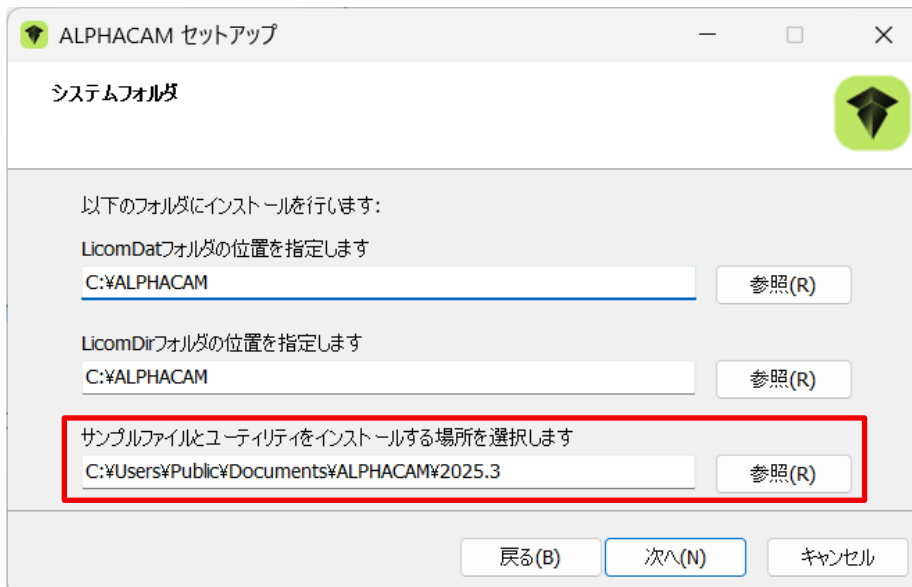
注記： 海外サーバからダウンロードするため、ダウンロード完了まで時間がかかる場合があります。また、ライコムシステムズが作成した日本ユーザ向けの無償アドインコマンドはコピーされず、インストーラアップデートのタイミングによっては ALPHACAM の言語ファイルが最新ではない場合があります。

ALPHACAM インストール時の新オプション

ALPHACAM のインストール時に、Aspire(有償オプション)および NCSimul(無償オプションシミュレータ)のインストールを選択できるようになりました。

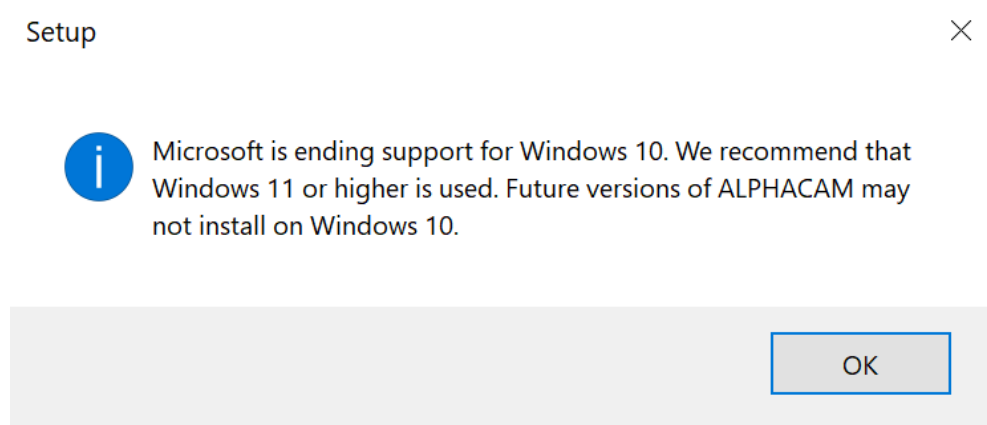


サンプルファイルとユーティリティをインストールするを有効にすると、下図で指定したフォルダに各種サンプル図面・サンプルデータや、各開発環境における API、ライセンスのドライバー等がコピーされます（必要に応じてインストールしてください）



インストーラー — Microsoft Windows 10 に関する警告

Microsoft による Windows10 のサポートが 2025 年 10 月に終了したため、ALPHACAM 2025.3 を OS が Windows 10 である PC にインストールする際に下図の警告が表示されます。

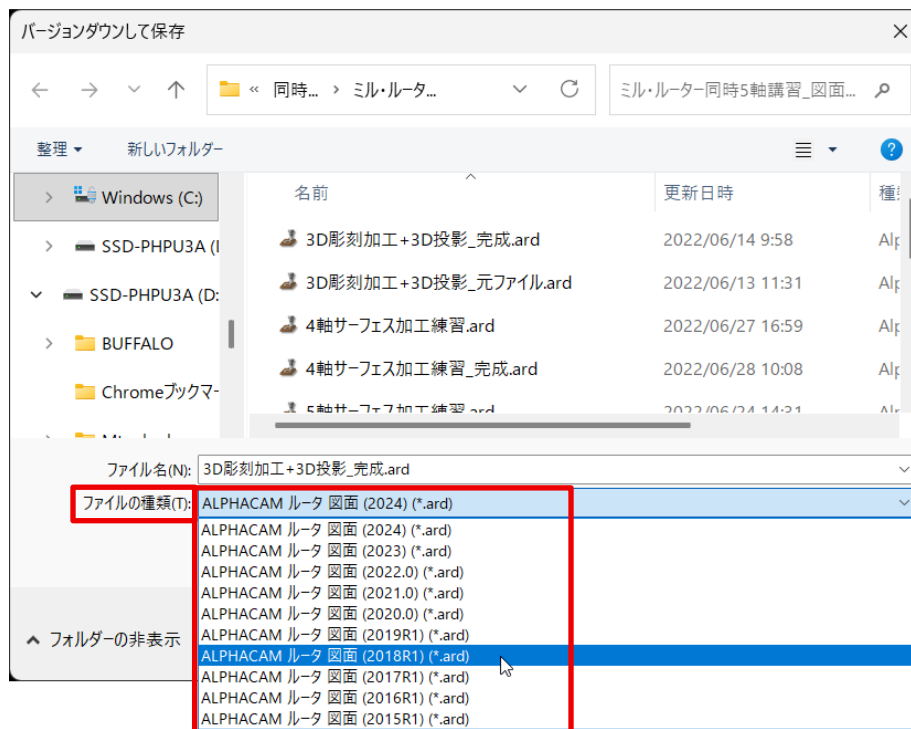


注記：上図は英語版インストール時の警告メッセージ

無償アドイン

バージョンダウンして保存

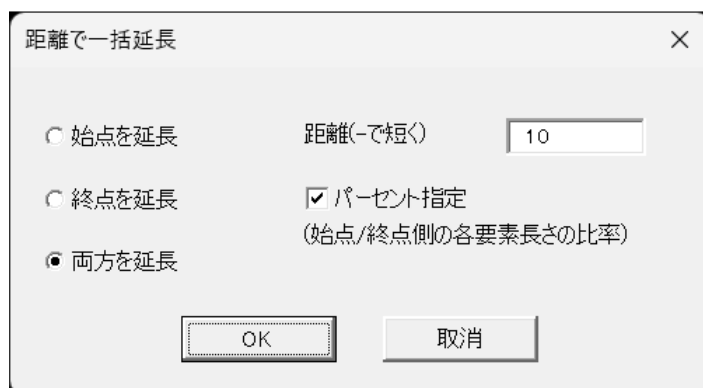
図面データを保存する際に、現在起動中の ALPHACAM から 10 年前のバージョンまで遡って保存することができます。このコマンドは **ホーム | ファイル** もしくは **LicomJP | Others** に追加されます。使用する場合は **アドイン | アドインマネージャ | 無償オプション | ライコムシステムズ | バージョンダウンして保存** を有効にしてください（ルータモジュールのみ）



距離で一括延長

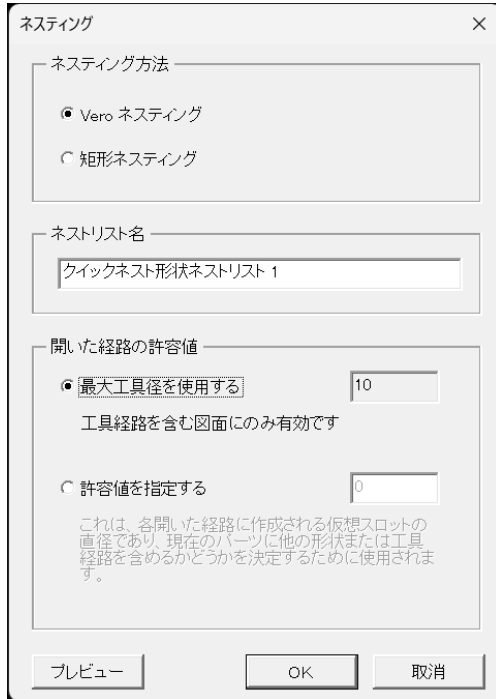
選択形状を一括で延長します。延長の対象は形状の始点 or 終点要素で、パーセント指定を有効にした場合は始点 or 終点の要素長さの比率で延長されます。このコマンドは **LicomJP | 2DCAD** に追加されます。

使用する場合は **アドイン | アドインマネージャ | 無償オプション | ライコムシステムズ | 距離で一括延長** を有効にしてください（ルータモジュールのみ）



クイックネスト - ネストリスト機能の追加

クイックネスト時にネストリストが作成されるようになり、ネスト後のネストリストを編集→再ネストが容易になりました。また、形状だけでなく工具経路もネスト可能に変更されました。



注記：開いた経路の許容値オプションは現在開発中の機能です。

プレビューを押下すると、パーツと工具経路の包括形状が表示されます

ソリッドシミュレーション

ソリッドシミュレーション - 情報リストに工程注記，クーラント設定が追加

新しいソリッドシミュレーション使用時にクーラントおよび工程注記が設定された工程が含まれている場合，情報リストに各設定が表示されるようになりました。

シミュレーション(U) ↑ ×

精度(T)

透明度設定

📄
🔑
🔑
🖨
📄

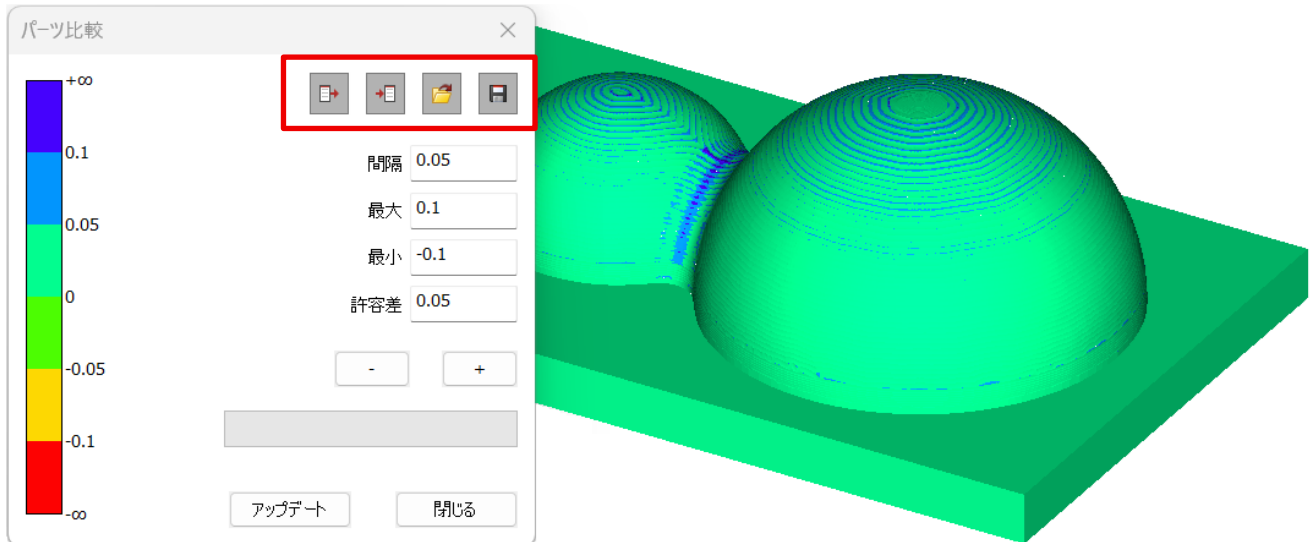
設定(C)

名前	値
工具	4
工具名	スクエアエンドミル-20MM
クーラント	フラッド
工程	1
工程名	ポケット輪郭 - 帝
工程注記	荒加工
主軸	12000
送り	2000
X	39.935
Y	-14.482
Z	-80.000
A	0.000
B	0.000
C	0.000
状態	理由
中断	ユーザー
#	干渉
1	素材 & 工具

パーツ比較 - 設定およびデフォルトの読み込み/保存

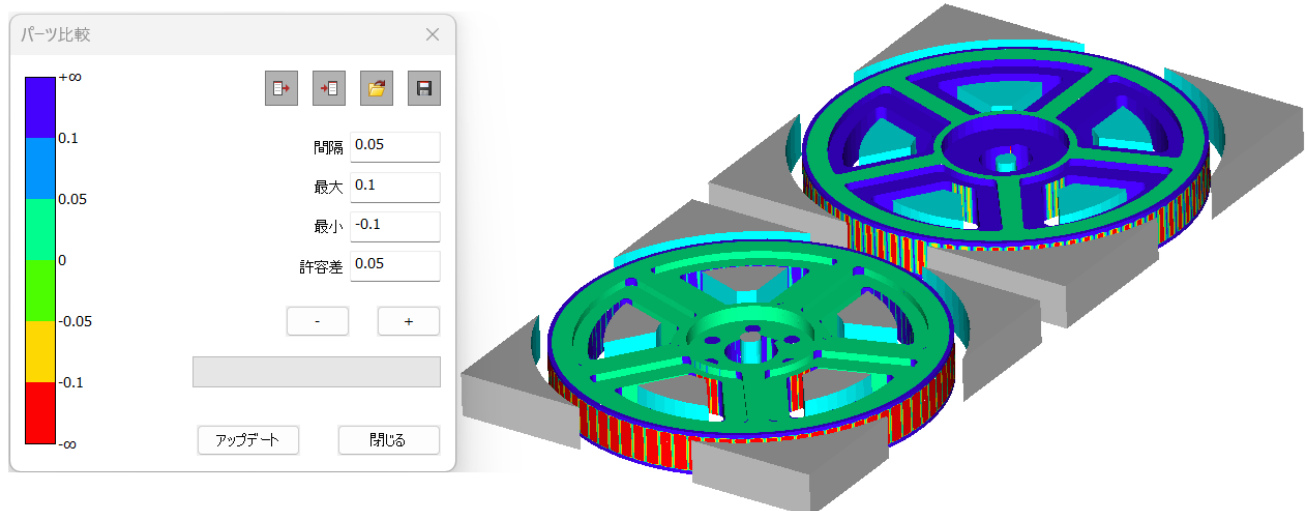
新しいソリッドシミュレーションのパーツ比較において、現在の設定をデフォルトとして設定および作成した設定の読み込み/保存が出来るようになりました。

作成した設定(*.aPartCompare)は C:\ALPHACAMLICOMDAT\PartCompareData に保存されます。



パーツ比較 - 複数パーツの比較をサポート

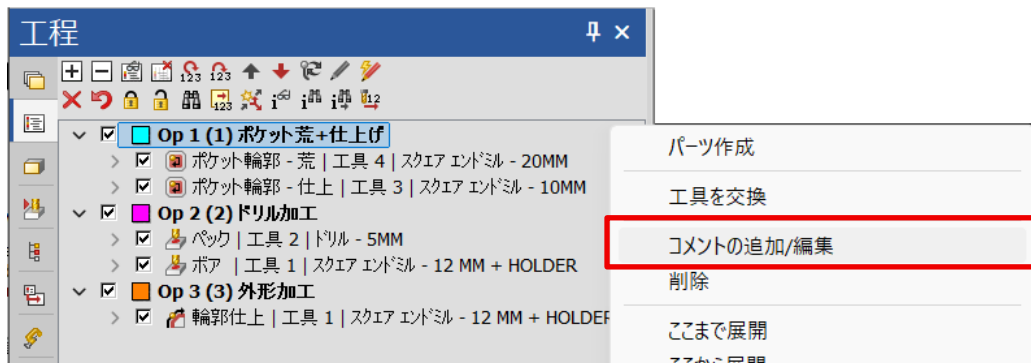
新しいソリッドシミュレーションにて複数のモデルを1度に比較できるようになりました。比較対象のモデルは、プロジェクトマネージャのレイヤタブにてモデル(STL or ソリッド)を右クリック→比較モデルとして設定を選択する必要があります。



プロジェクトマネージャ

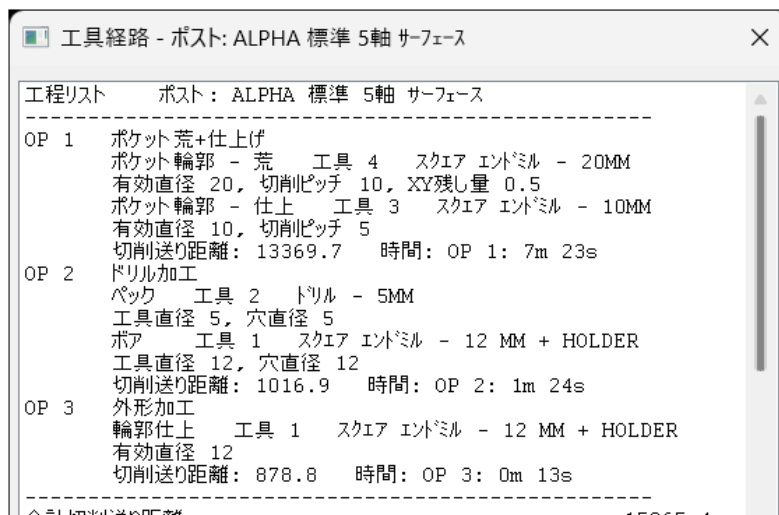
工程 - 工程順変更の改善およびコメントの追加/編集

ALPHACAM 2025.3 のプロジェクトマネージャにおいて、工具が異なる工程であっても上/下に移動コマンドを使用して同一工程グループにまとめることが出来るようになりました。また、工程グループ上で右クリックもしくは工程グループを左クリックして選択中に F2 キーを押下することで、工程グループに対してコメントを追加することが出来るようになりました。複数の工程グループをまとめて選択した場合、選択したすべての工程グループに対して同じコメントが作成されます。



注記：ネスティングされたパーツに対する工程グループのコメントは保証されません

また、工程グループに対するコメントは NC プログラムの先頭コメントとしても出力されます。(選択ポストが NC プログラム出力時にコメントを出力する仕様である場合)



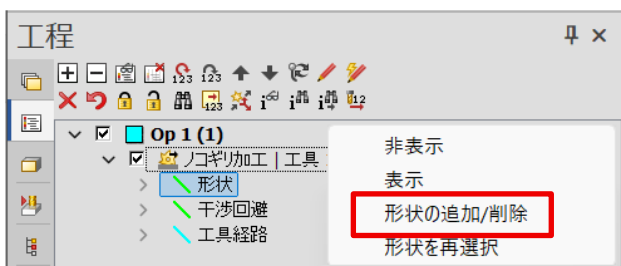
工程 - 工程の名前変更

工程を右クリックもしくは工程を左クリックして選択中に **F2** キーを押下することで、工程名を変更することが出来るようになりました。複数の工程をまとめて選択した場合、選択したすべての工程に対して同じ工程名が作成されます（工程名を空欄にするとデフォルトの工程名となります）

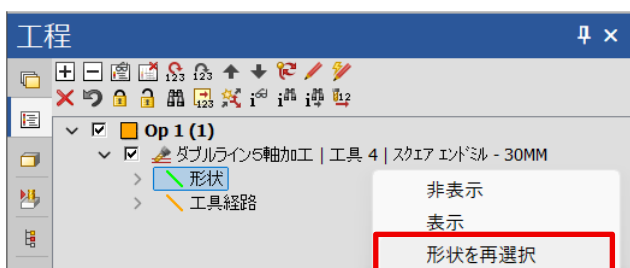


工程 - 形状/3D モデルの追加の改善

工程内の選択形状/3D モデルの追加/削除時に、既存の選択形状/3D モデルは選択色でハイライト表示されるようになり、未選択の形状/3D モデルが分かりやすくなりました。

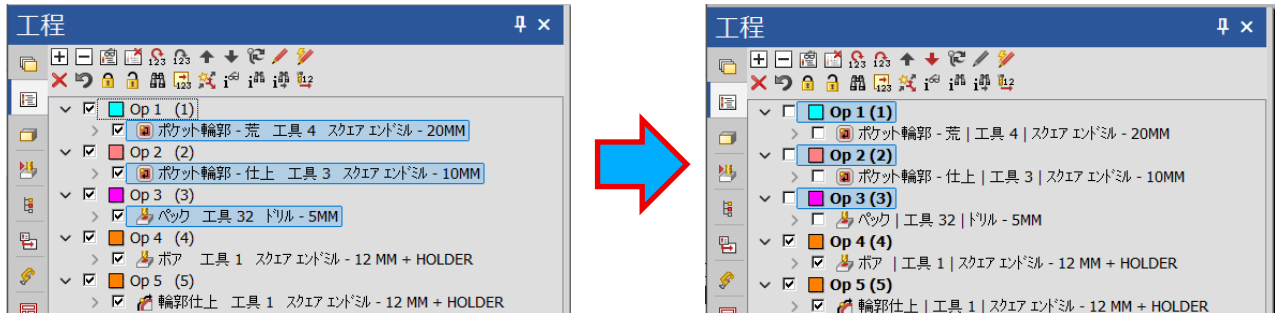


また、ダブルライン 5 軸加工において形状の再選択が可能となり、プログラム形状→補助形状の順で再選択を行います。



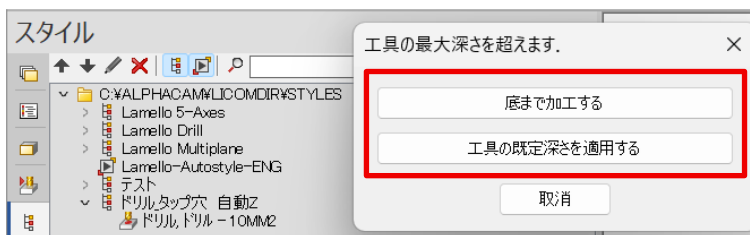
工程 - 選択工程の一括表示/非表示

プロジェクトマネージャの工程タブにて、工程を複数選択した状態でキーボードのスペースキー押下で選択工程の一括表示/非表示を行うことが出来るようになりました。



スタイル - ドリル/タップ自動Z - 工具の最大深さに関するダイアログの表示

ドリル/タップ自動Zのスタイルを使用する際、穴形状のZレベルが工具の有効刃長を超える場合に穴底まで加工 or 工具の有効刃長の深さまで加工を選択するダイアログが表示されるようになりました。



注記：オートスタイルを使用してスタイルを適用した場合は上記ダイアログが表示されず、有効刃長の深さまでの工具経路が作成されます。

プロジェクトマネージャ - テキスト，サーフェス，スプラインの名前変更

テキスト，サーフェス，スプラインの名前変更ができるようになりました。名前変更はプロジェクトマネージャ上で要素を右クリックもしくは左クリックして選択中に F2 キーを押下することで変更することができます。

要素の名前変更はプロジェクトマネージャのレイヤ，作業平面，工程のそれぞれで行うことができます。



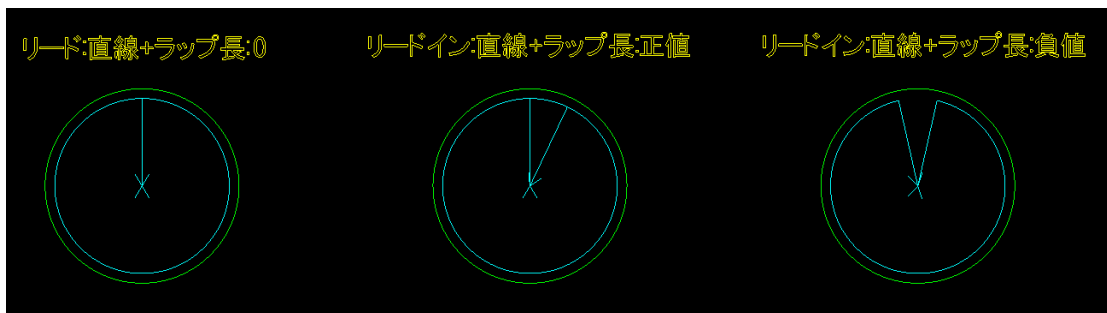
---- Ver 2025.2 ----

2D リードイン/アウト
2D リードイン/アウト - 開始と終了を円中心にする

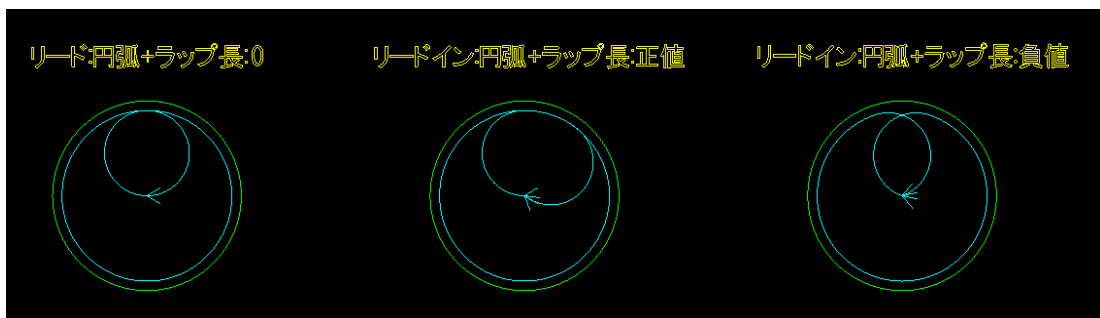
輪郭加工等の 2D リードイン/アウトに**開始と終了を円中心にする**が追加されました（円に対してのみ有効）
このオプションを有効にすると必ず円中心からリードイン、円中心へリードアウトする工具経路が作成されます。

下図は輪郭加工においてこのオプションを使用した場合の一例です。

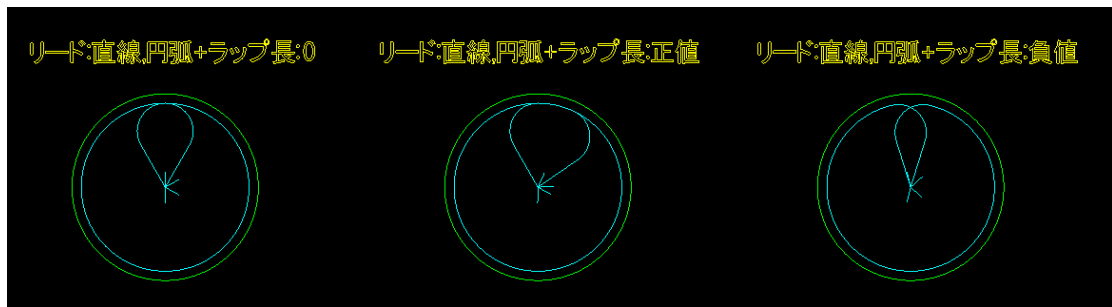
- **直線** - リードイン/アウトの直線長さ・角度は無視され、円中心からリードイン・円中心へリードアウトを行います。リードアウト+ラップ長を設定した場合、オーバーラップ位置から中心へリードアウトを行います。



- **円弧** - リードイン/アウトの円弧半径・角度は無視され、工具経路の半径/2の円弧が接線接続された状態で円の中心からリードイン/アウトを行います。



- **直線+円弧** - リードイン/アウトの直線長さ・角度は無視され、円の中心からの直線+円弧でのリードイン/アウトを行います。この際、円弧半径が工具経路半径の 1/2 を超える場合は直線部分のリードイン/アウトが作成されず、円中心から工具経路半径の 1/2 の円弧で接線接続するリードイン/アウトが作成されます。



ポケット加工 / 等高線荒加工

ポケット加工 / 等高線荒加工 - 傾斜リードインの改善

リードインタイプ：傾斜時は以下のように改善されました。

- センタカット工具：ON + 最大プランジ深さ：0 の場合，自動でランプ角度が変更されてしまうのを改善
- センタカット工具：OFF + 最大プランジ深さ：0 の場合，工具は材料にプランジ出来ないため，材料の外側からのリードインもしくは下穴へのリードインが必要
- 最大プランジ深さに 0 よりも大きく最大深さピッチ未満の値を設定した場合，工具の最大プランジ深さを超えないように自動でランプ角度を調整したリードインを作成
- 最大プランジ深さが最大深さピッチよりも大きい場合は垂直プランジで切り込み



ポケット加工

ポケット加工 - 輪郭加工 (径補正 G41/G42) による最終切削オプション

ポケット加工後に仕上げの輪郭加工を行う径補正を使用した最終切削を追加オプションが追加されました。従来の輪郭加工も作成するはポケット加工を作成後、新たに仕上げの輪郭加工の工程ダイアログが表示されますが、上記オプションの場合はポケット加工と同時に輪郭加工も作成されます。

上記オプションを有効にすると加工データタブに最終切削のピッチが追加され、仕上げの輪郭加工の切削幅を指定できます。また、工具径補正を使用するためリードイン/アウトのタブが追加されます。

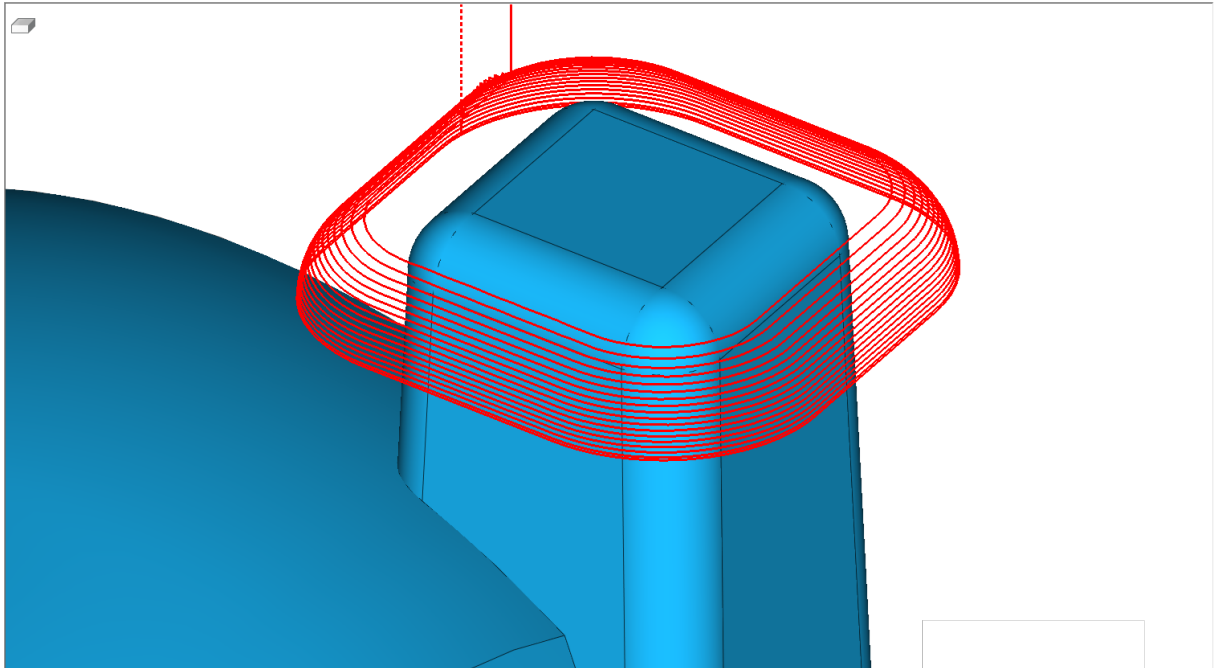


注記：このオプションは断面：垂直および自動Z以外では使用できません
 また、ウェーブフォーム以外は工具中心座標を選択できません
 ウェーブフォーム以外で工具中心座標が必要な場合は輪郭加工も作成するを選択してください

3D 加工

3D 加工 - 大規模モデルにおける工具経路計算時間の改善

3D 加工の工程設定時に指定された Z レベル加工範囲外に大きなフェースや複雑なモデルが含まれる際の工具経路計算時間がより改善されました。

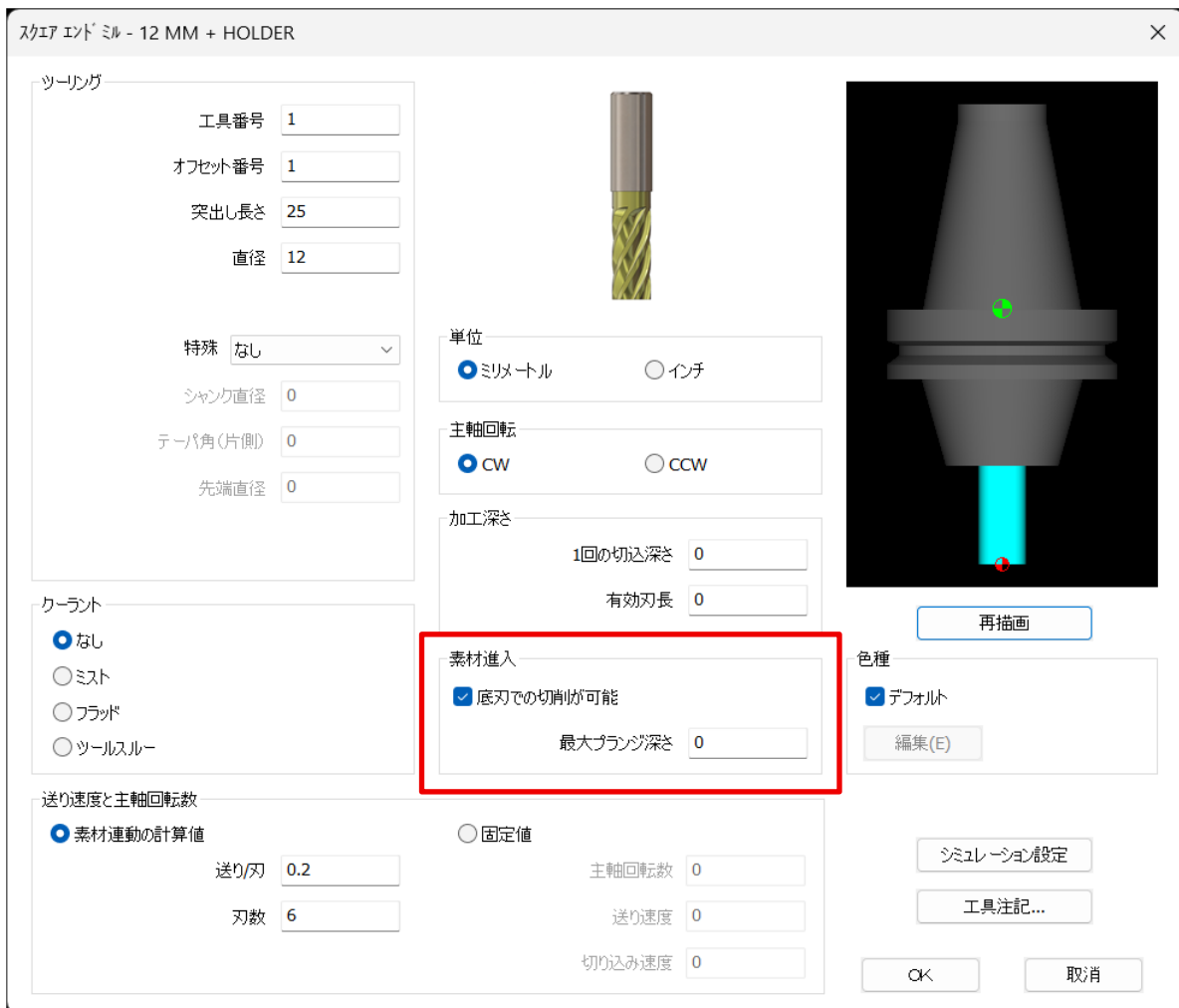


工具定義

工具定義 - 底刃での切削が可能オプションと最大プランジ深さの追加

スクエア・ラジラス・ボールエンドミルの工具定義/編集時に底刃での切削が可能および最大プランジ深さを設定することが出来るようになりました。

これらの設定は、3D加工の等高線荒加工およびポケット加工時のリードインタイプやプランジ（Z方向の切り込みピッチ）の初期値として使用されます。



ツールライブラリ

ツールライブラリ — 底刃での切削と最大プランジ深さの追加

ツールライブラリ内に工具定義/編集時に設定する底刃での切削および最大プランジ深さの項目が追加されました。

工具 (C:\ALPHACAM\LICOMDAT\rttools.alp)0サンプル工具

フォルダ追加 工具印刷 工具編集 削除 素材選択(M) 工具選択(T) 既定ホルダ設定 工具定義

工具検索

ボール ラジアス スクエア ドリル タップ チップソー ユーザ

工具検索 工具フィルタ

名前	番号	オフセット	タイプ	直径	長さ	底刃での切削	最大プランジ深さ	有効刃長	1回の切込...	シャンク径
H1-15	1	1	スク...	6.0	20.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 10mm	3	3	スク...	10.0	55.0	No	5.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 12 mm ...	1	1	スク...	12.0	25.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 15mm	3	3	スク...	15.0	55.0	No	5.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 20mm	4	4	スク...	20.0	75.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 2mm	1	1	スク...	2.0	15.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 30mm	4	4	スク...	30.0	100.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 3mm	6	6	スク...	3.0	50.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - 5mm	2	2	スク...	5.0	25.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
スクエア エンドミル - ダミー	0	0	スク...	0.0	0.0	Yes	0.0	0.0	0.0	0
セクタードリル - ダミー	0	0	ドリル	0.0	0.0	No	0.0	0.0	0.0	0
タップ - 10mm x 1mm pitch	43	43	タップ	10.0	55.0	No	0.0	0.0	0.0	0
タップ - 20mm x 2mm pitch	44	44	タップ	20.0	55.0	No	0.0	0.0	0.0	0
タップ - 5mm x .5mm pitch	42	42	タップ	5.0	50.0	No	0.0	0.0	0.0	0
タップ - ダミー	0	0	タップ	0.0	0.0	No	0.0	0.0	0.0	0
ドリル - 10mm	33	33	ドリル	10.0	55.0	No	0.0	0.0	0.0	0

また、ALPHACAM2025.2以降のバージョンにおいてツールライブラリ内の項目順序および項目幅の設定は2025.2以降のバージョンにも適用されます。この設定は2025.2以前のALPHACAMのツールライブラリには影響せず、2025.2以前のバージョン内での変更も2025.2以降のバージョンに影響しません。

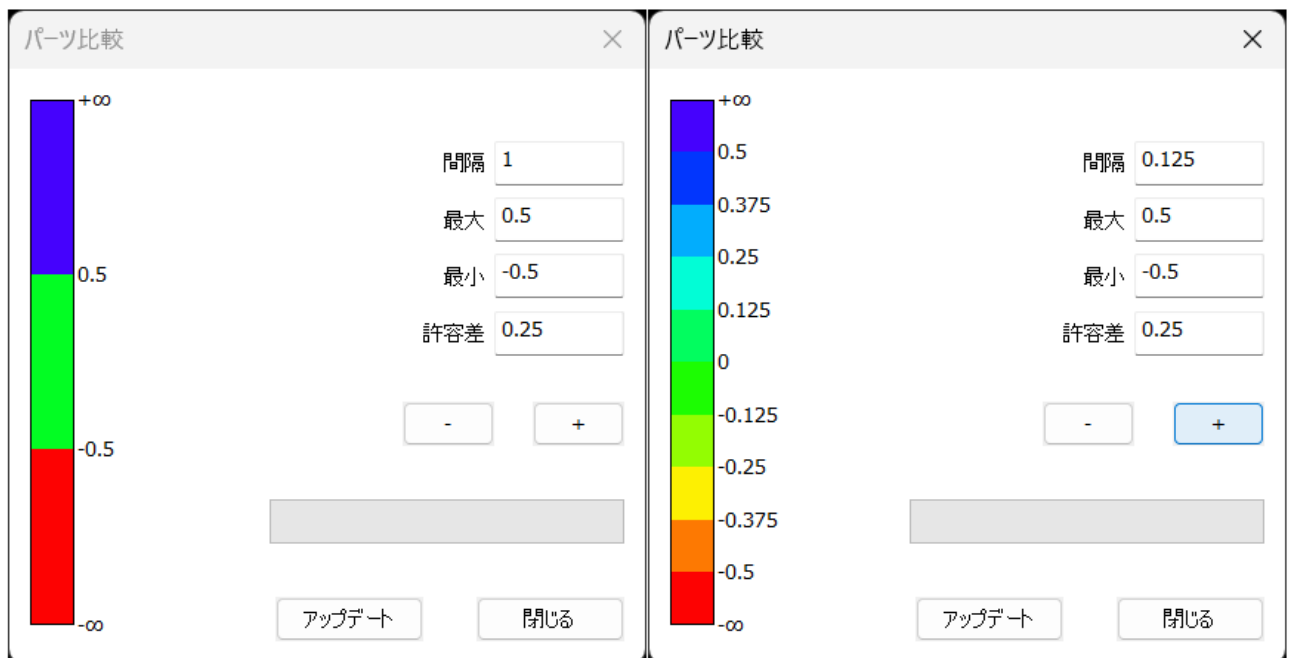
ソリッドシミュレーション

ソリッドシミュレーション - パーツ比較

新しいシミュレータにおいて、従来の NCSIMUL と同様に製品と切削結果を比較する**パーツ比較**コマンドが追加されました。



パーツ比較を行う際は、製品の STL/ソリッドモデルが必要です。プロジェクトマネージャーのレイヤページにて STL/ソリッドモデル名の上で右クリック→**比較モデルとして設定**を選択後にソリッドシミュレーションを実行するとパーツ比較コマンドが使用できます（下図はコマンド押下後の設定画面）



下部の +/- ボタン押下で切削後の精度の色分け数を 3 色～10 色に変更できます。

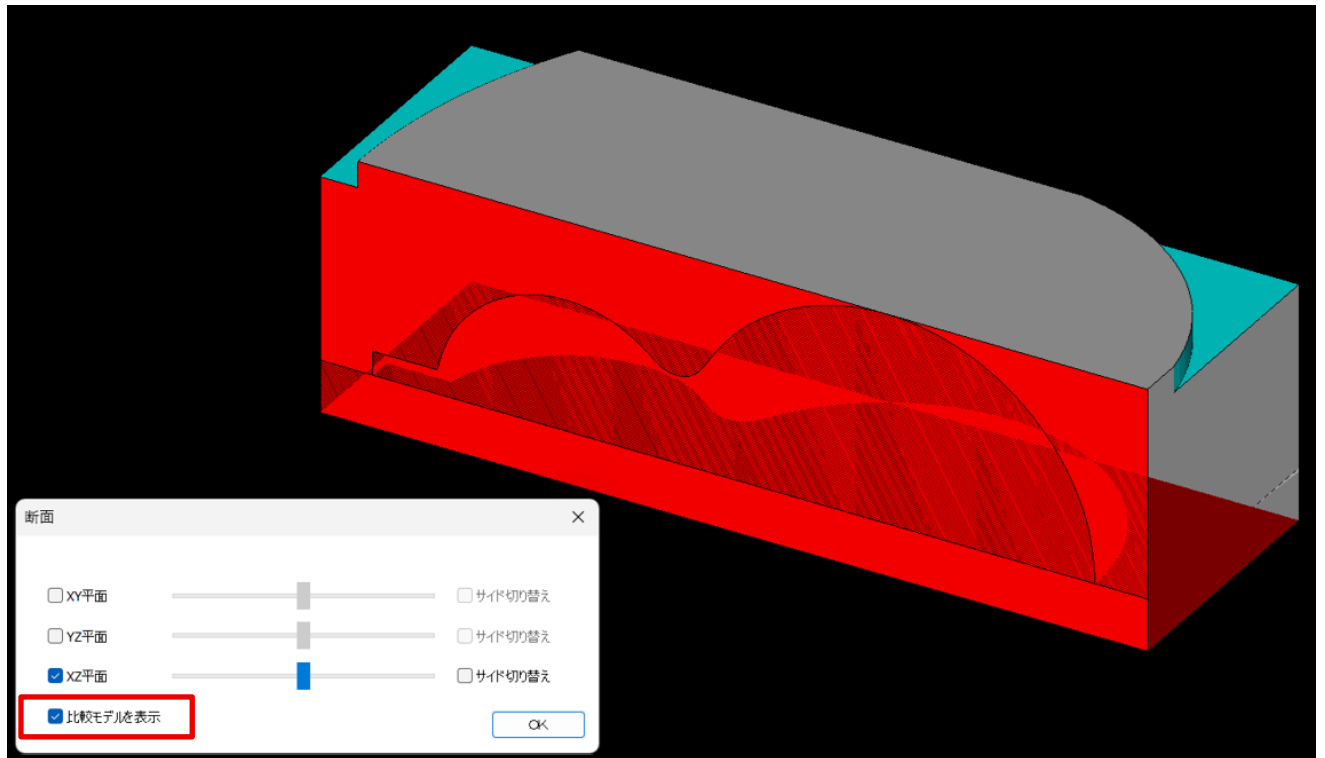
青は切り残し・赤は干渉を示しており、間隔/最大/最小はいずれかの設定を変更すると連動して更新されます。 +/- ボタン押下で間隔の初期値の 1/2, 1/3, 1/4, 1/5, 1/6, 1/7, 1/8 の数値で精度の色分けが細分化されます。

- ・間隔 — 精度を色分けする際の精度間隔を設定します
- ・最大 — 切り残しの最大値を設定します
- ・最小 — 干渉の最小値を設定します
- ・許容差 — 切削結果の塗りつぶし描画精度を設定します

カラーバーを左クリックで配色を変更でき、アップデート押下で表示色が更新されます。

ソリッドシミュレーション - 断面 - 比較モデルを表示

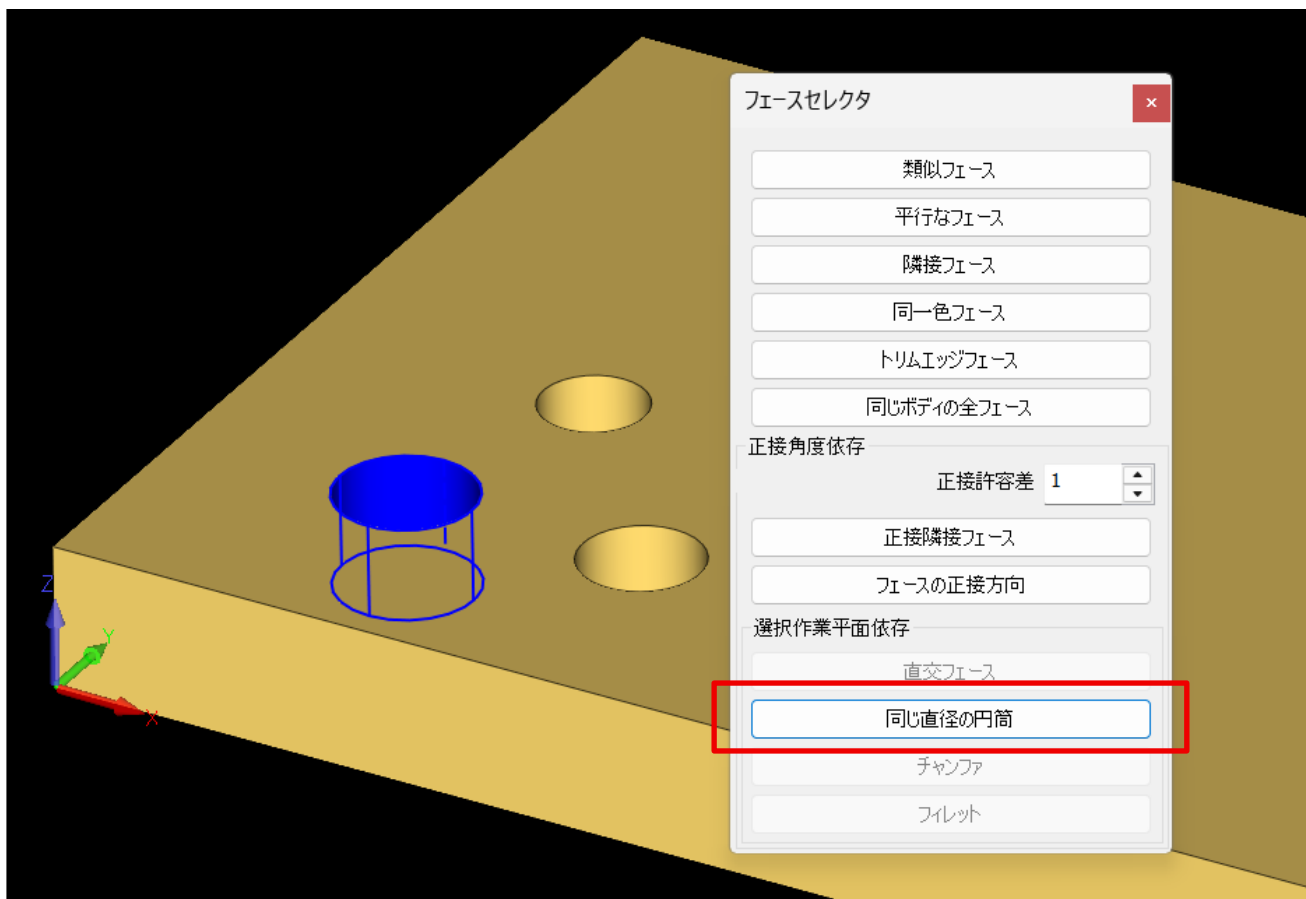
ソリッドシミュレーション後に断面を表示する際に比較モデルが含まれている場合、断面色に影を付けた色で比較モデルの断面を表示することが出来るようになりました。



ソリッドモデル

ソリッドモデル - フェースセクタ - 同じ直径の円筒

フェースセクタに**同じ直径の円筒**が追加され、最後に選択した円筒と同じ直径を持つすべての円筒を選択することが出来るようになりました。これらの円筒は方向や貫通穴/非貫通穴の状態は無関係に選択されます。

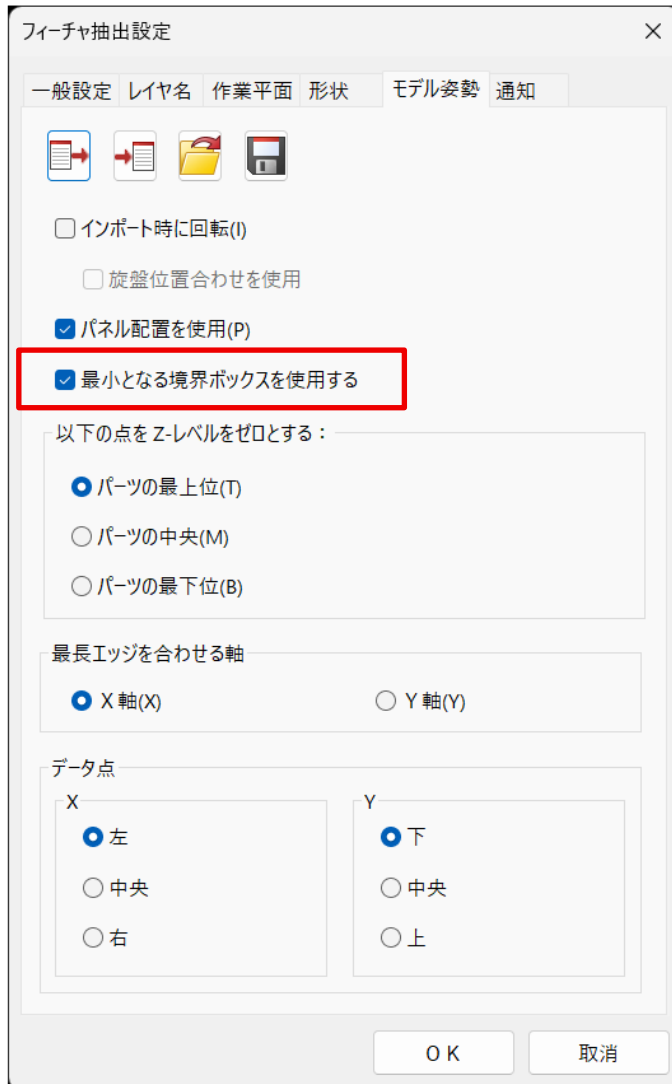


フィーチャ抽出

フィーチャ抽出 - 最小となる境界ボックスを使用する

フィーチャ抽出設定 - モデル指定に最小となる境界ボックスを使用が追加されました。

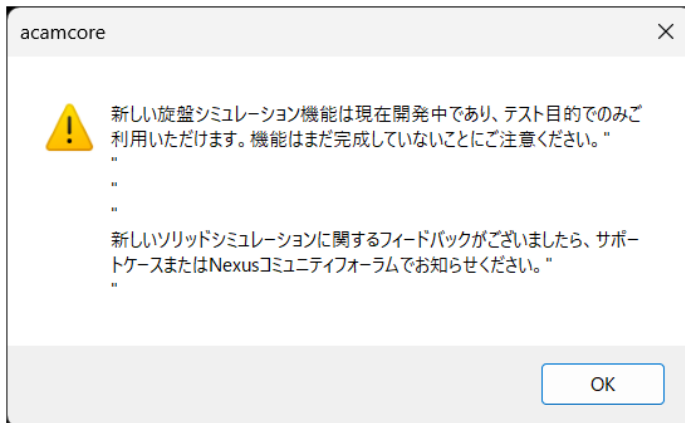
このオプションはデフォルトでオンになっており、図面内のソリッドを包括する最小の境界ボックスが作成され、ソリッドエッジの代わりに境界ボックスのエッジを使用してパーツの自動回転を行います。



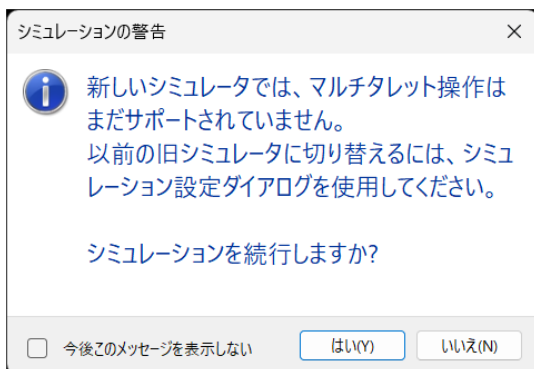
旋盤

旋盤 - ソリッドシミュレーション - 新しいシミュレータに対応

普通旋盤において新しいソリッドシミュレータを使用することが出来るようになりました。
CY 軸加工やマルチタレットは開発中のため、新しいシミュレータを有効にすると以下のメッセージが表示されます。

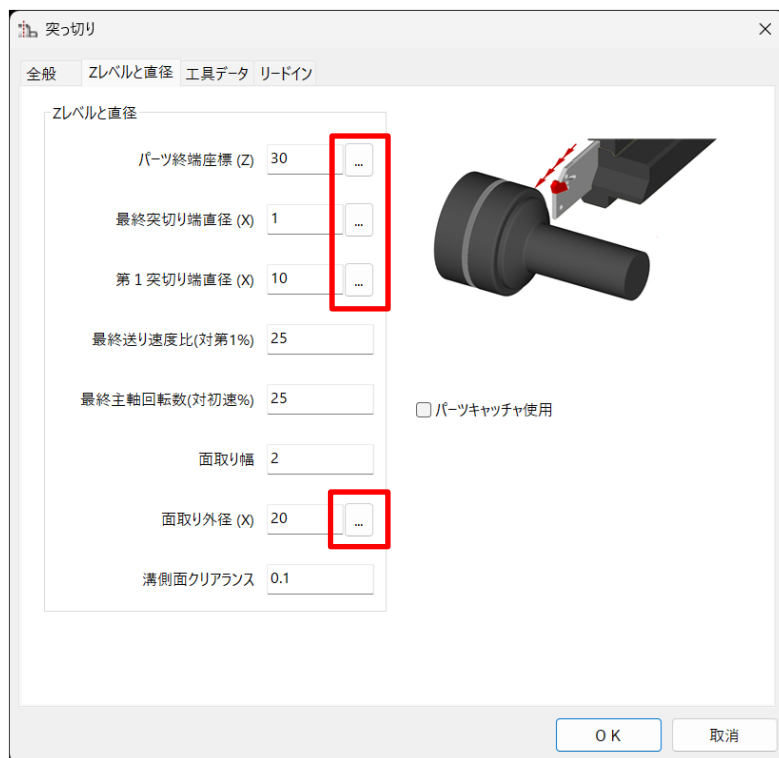


また、マルチタレットが含まれる工程をシミュレーションする際は以下の警告が表示されます。



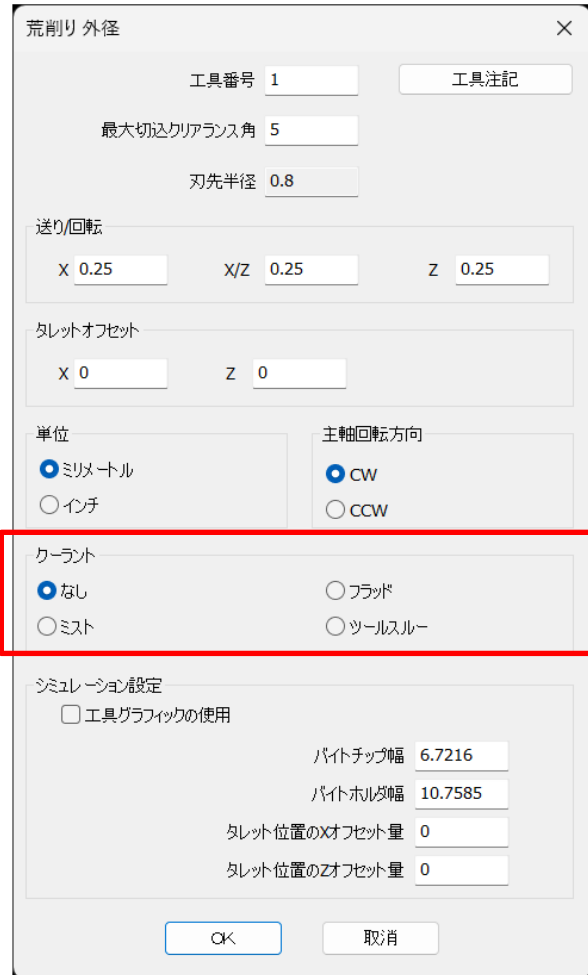
旋盤 - 画面からピックボタンの追加

旋盤モジュールの普通旋盤コマンド各種において、Z レベルや直径値を画面からピックするボタンが追加されました（下図は突っ切りコマンド）



旋盤 - 工具定義 - ターニング工具のクーラントオプション追加

ターニング工具の工具定義/編集および旋盤工程編集時に、回転工具と同様にクーラントの設定が可能となりました。



荒削り 外径

工具番号 1 工具注記

最大切込クリアランス角 5

刃先半径 0.8

送り/回転

X 0.25 X/Z 0.25 Z 0.25

タレットオフセット

X 0 Z 0

単位

ミリメートル インチ

主軸回転方向

CW CCW

クーラント

なし フラッド

ミスト ツールスルー

シミュレーション設定

工具グラフィックの使用

バイトチップ幅 6.7216

バイトホルダ幅 10.7585

タレット位置のXオフセット量 0

タレット位置のZオフセット量 0

OK 取消

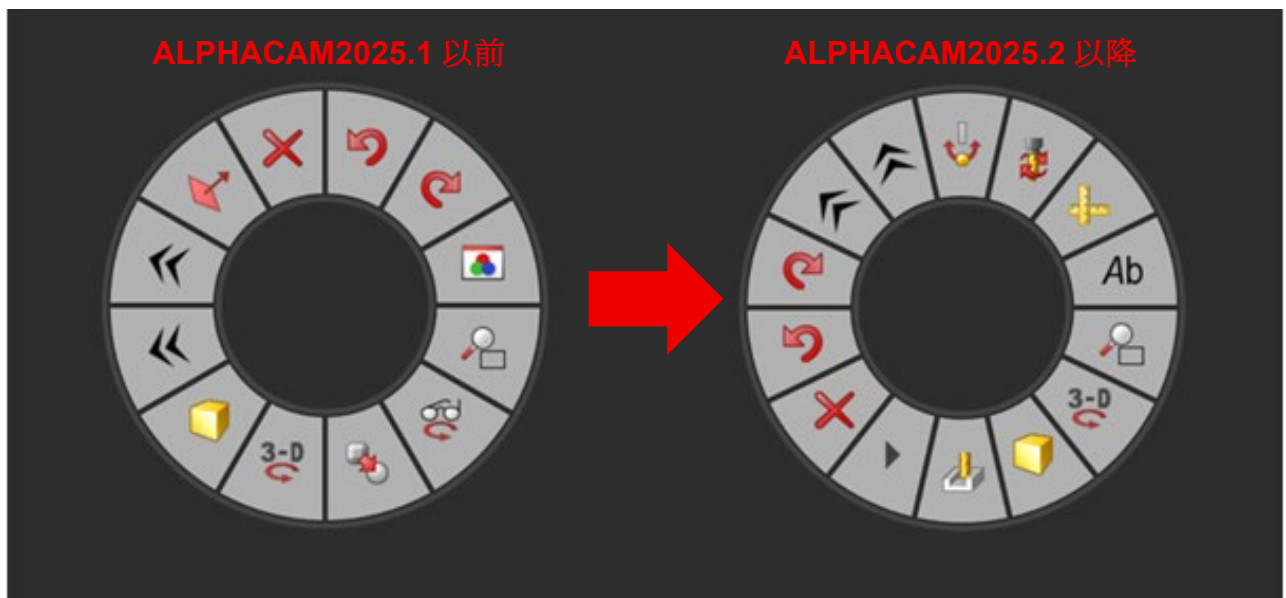
ラジアルメニュー

ラジアルメニュー - 初期設定の改善

ラジアルメニューにデフォルトで登録されているコマンドがより使いやすいように変更されました。

新しく追加されたコマンドは以下の通りです

- 切削方向
- 工具データを同期
- 寸法
- 文字
- ソリッドシミュレーション
- シミュレーション再生



注記： モジュール毎にデフォルトは若干異なる場合があります
 2025.1以前のバージョンを既にインストール済みの場合、ラジアルメニューのリセットを行うと新しいデフォルト設定に更新されます

パラメトリックスケッチ

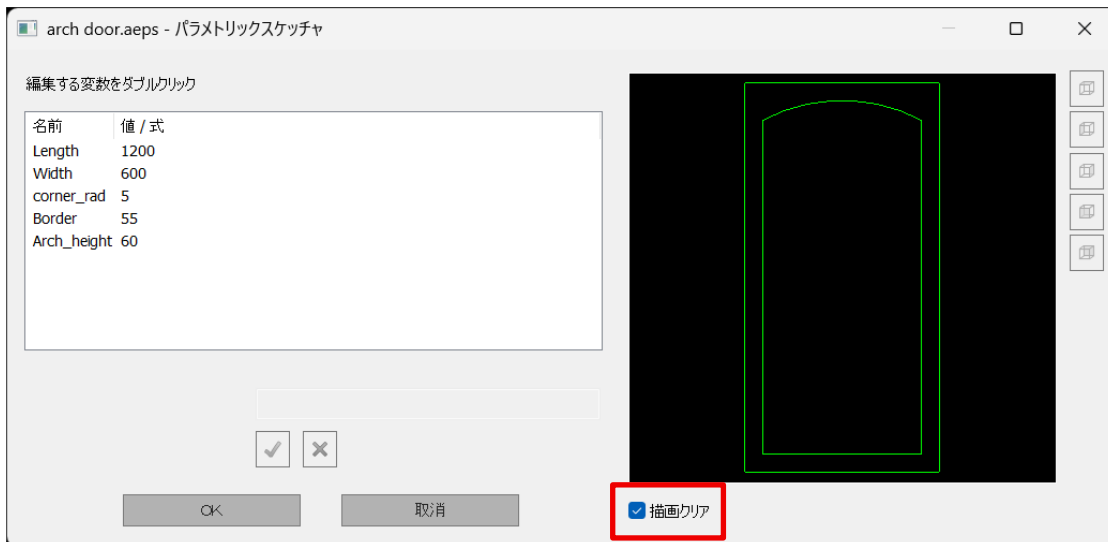
パラメトリックスケッチ - アンドゥ/リドゥと図面クリアの追加

パラメトリックスケッチにアンドゥ/リドゥを行ったり、実行前に図面をクリアする機能が追加されました。



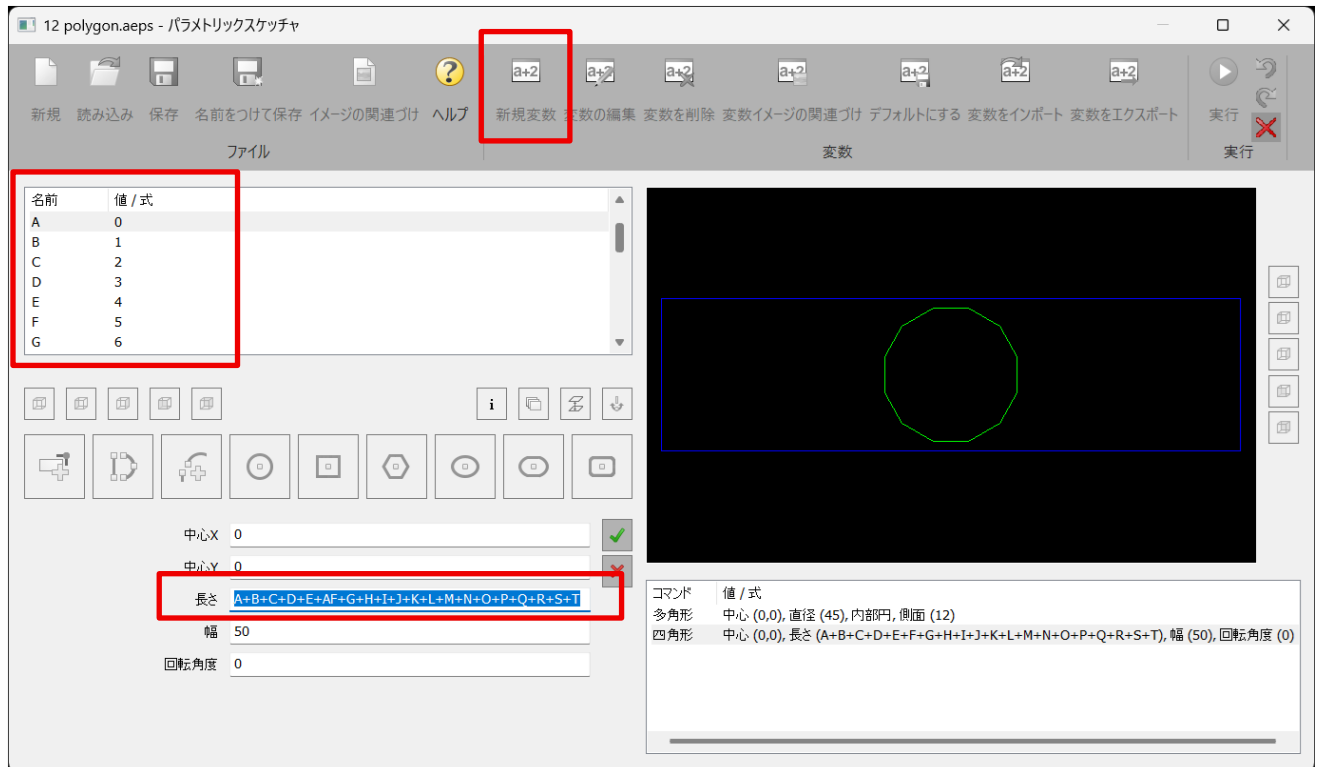
図面クリアが有効になっていると、ALPHACAM内の既存形状を全て削除してからパラメトリックスケッチによる作図が行われます。

同様に、パラメトリックスケッチの実行コマンド内にも図面クリアが追加されました。



パラメトリックスケッチ - 使用可能な変数の数の増加

1つのパラメータ式における使用可能な変数の数が16→20に変更されました。

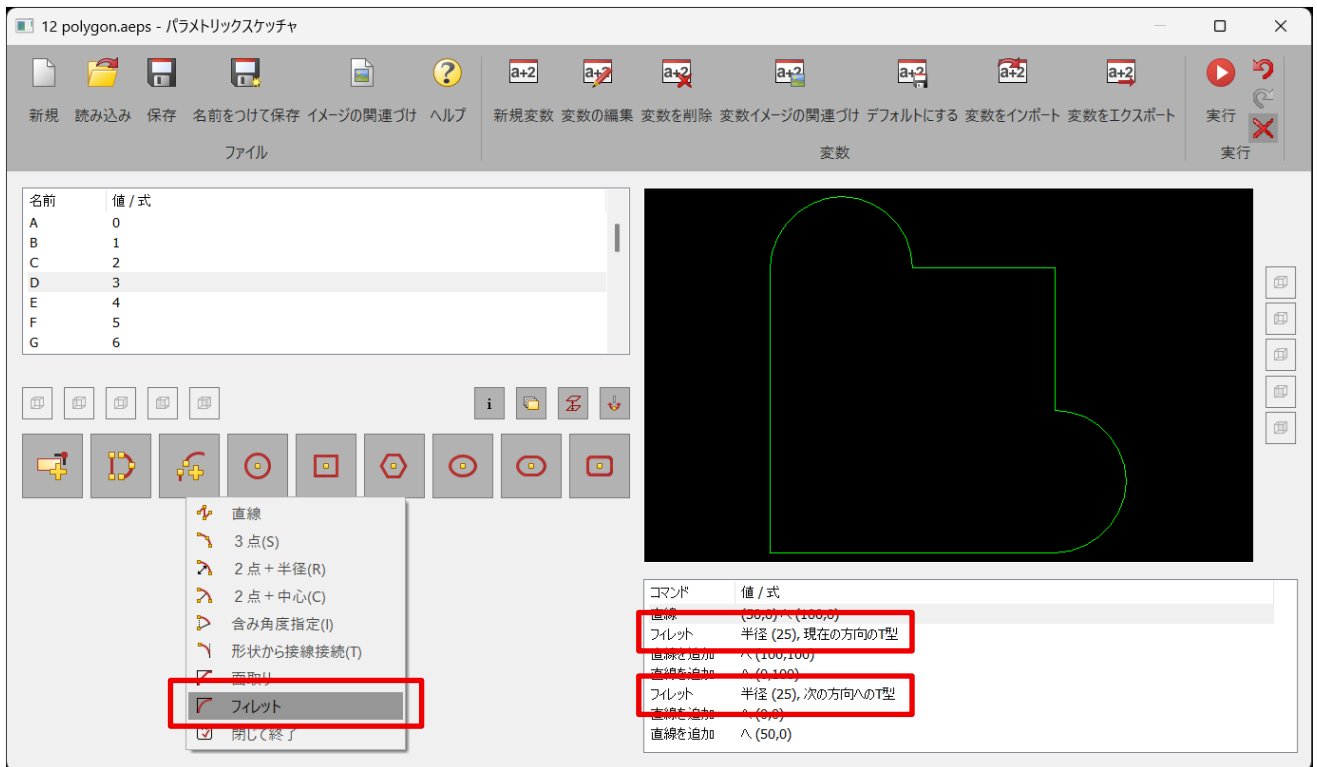


注記 ; 20 を超える数の変数を 1つの式に使用するとエラーメッセージが表示されるため、このような場合は部分的な計算結果を格納する別の変数を作成する必要があります。

パラメトリックスケッチ - フィレット- T型フィレットの追加

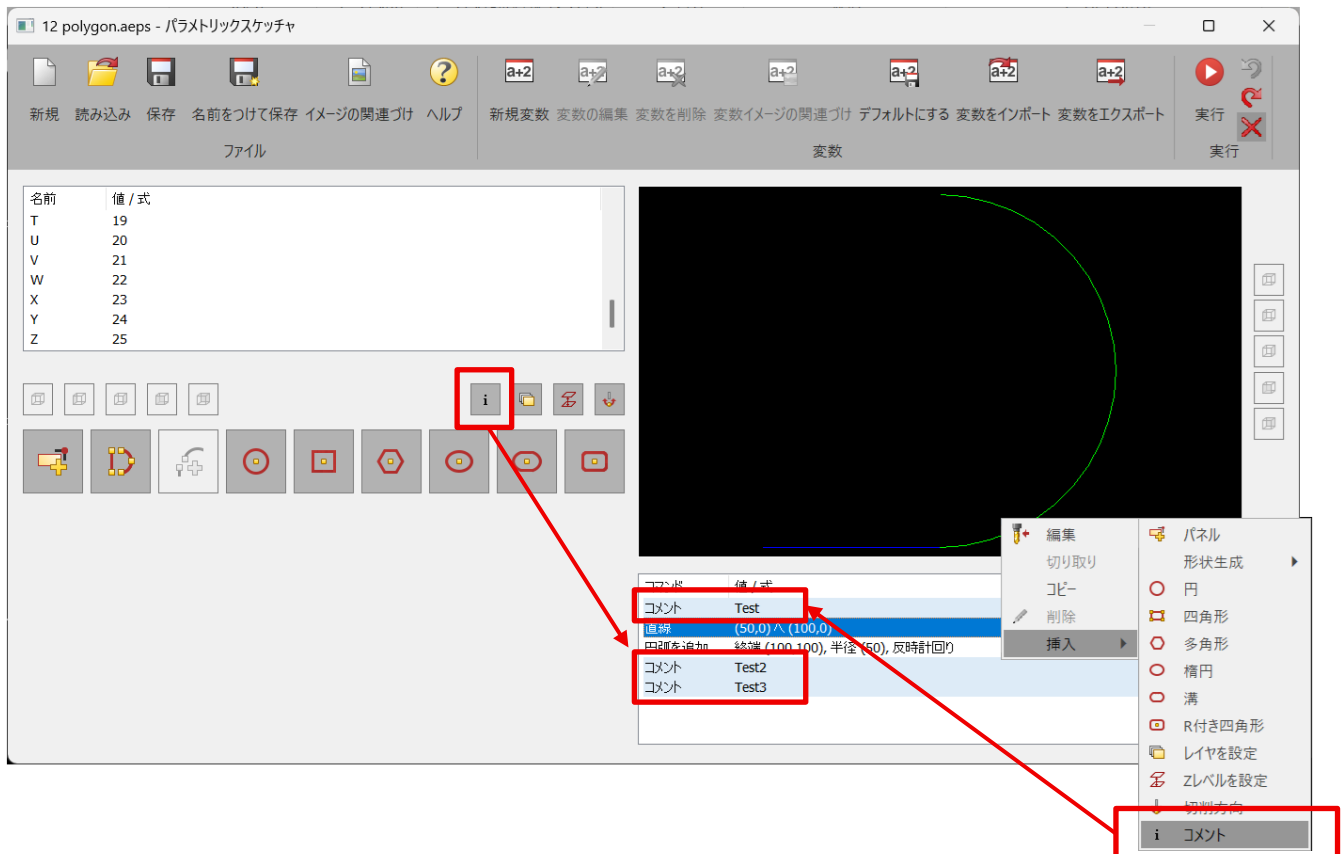
パラメトリックスケッチにT型フィレットが追加されました。フィレット方向はフィレット前に作図してある直線の間もしくはフィレット後に作図されている直線の間いずれかを指定できます。

注記：T型フィレットは2つの直線間にも適用できます



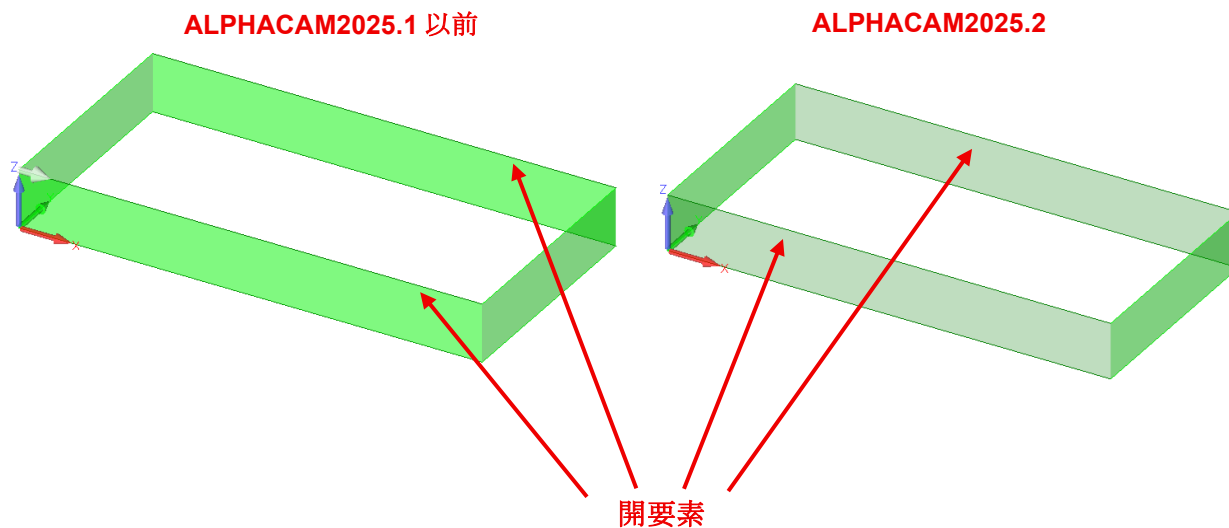
パラメトリックスケッチ - コメント機能の追加

パラメトリックスケッチにコメントが追加され、コマンドリスト内にコメントを登録することが出来るようになりました。作図ボタン上部のコメントボタンを押下すると、コマンドリスト末尾にコメントを登録します。コマンドリスト内で右クリックして挿入 | コメントを選択すると、右クリックで選択したコマンドの前にコメントを登録します。



CAD - 2D 作図**形状 - 開要素設定 - 開要素のレンダー表示**

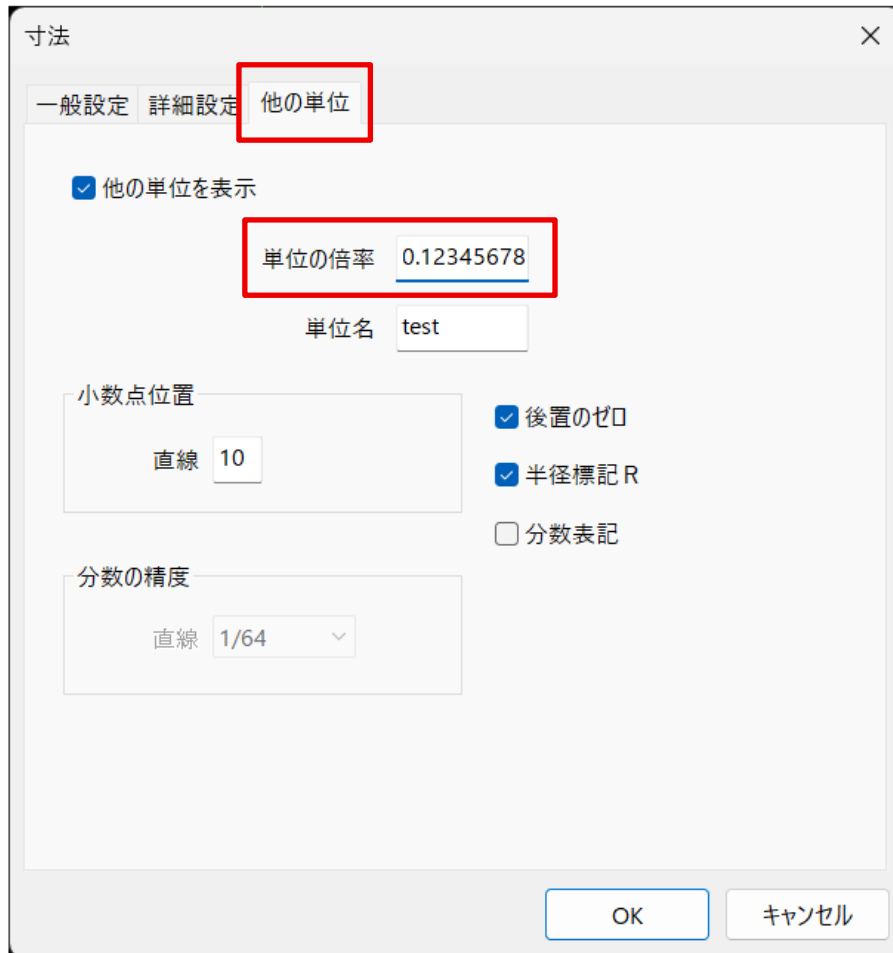
形状 Z レベルを設定した形状をレンダー表示した際、2025.1 以前では開要素設定した要素が暗く表示されませんでした（レンダー表示オフの際は暗く表示される）、2025.2 ではレンダー表示オンの際も開要素設定した要素を暗く表示するように改善されました。



寸法

寸法 - その他の単位 - 単位の倍率の改善

寸法コマンドの単位の倍率を小数点以下の桁数 10 まで設定することが出来るようになりました。



寸法

一般設定 詳細設定 **他の単位**

他の単位を表示

単位の倍率 0.12345678

単位名 test

小数点位置

直線 10

後置のゼロ

半径標記 R

分数表記

分数の精度

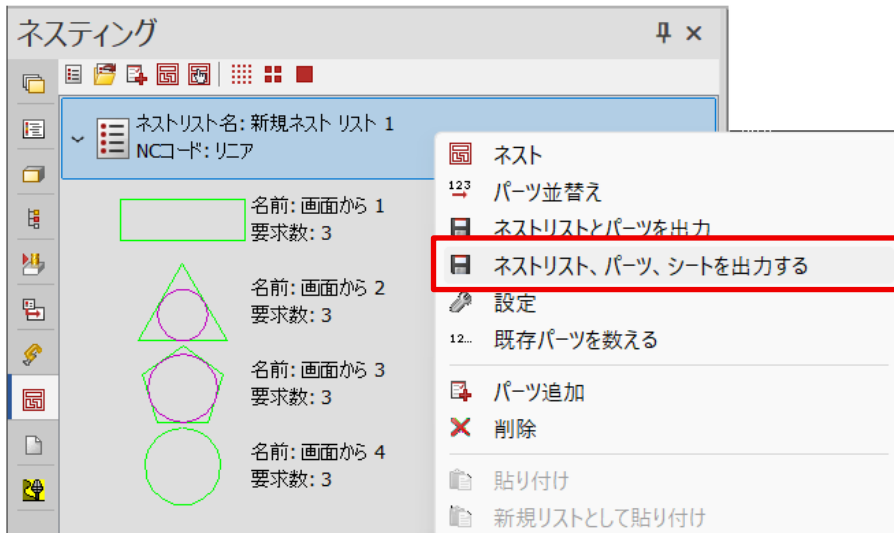
直線 1/64

OK キャンセル

ネスティング

ネスティング - ネストリスト、パーツ、シートを出力する

プロジェクトマネージャのネストリスト上で右クリック後、**ネストリスト、パーツ、シートを出力する**を選択すると、パーツ形状とシート形状（小部材ゾーン/ネスティング禁止ゾーン込み）を含んだネストリストファイル(*.anl)として出力することが出来るようになりました。



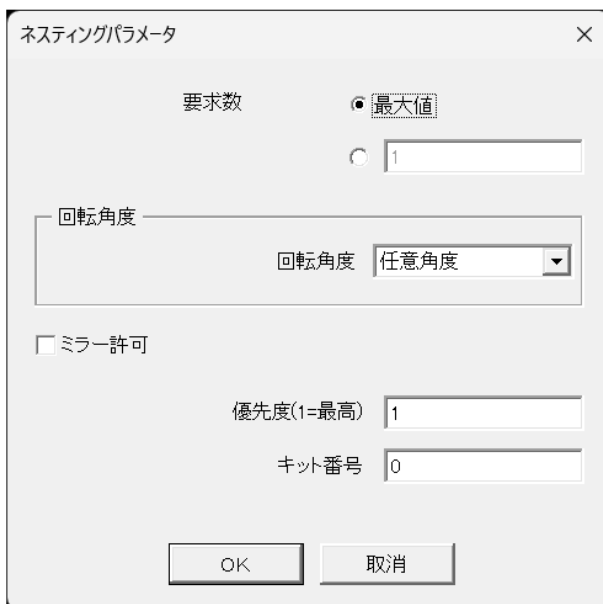
シートデータベースから選択したシートを使用している場合、出力したネストリストを使用して新規にネストを行う際には該当シートがシートデータベース内に存在している必要があります。

ネスティング - クイックネスト - Vero ネスティングの追加

無償アドインのクイックネストにおけるネスティング方法に Vero ネスティングが追加されました。



パーツ選択後のネスティングパラメータ画面では要求数の最大値、回転角度、ミラー許可、優先度とキット番号がサポートされました。



シート選択後に再度ネスティングパラメータ画面が表示され、標準のネスティングと同様の設定を行うことが出来るようになりました。

ネスティングパラメータ ×

詰め込み先

左上 右上

左下 右下

最終シートの配置方向

垂直 水平

間隔

バス間の最小隙間

シートエッジとの隙間

パーツを均等に配置

処理時間

全計算時間

非アクティブ タイムアウト

オプション

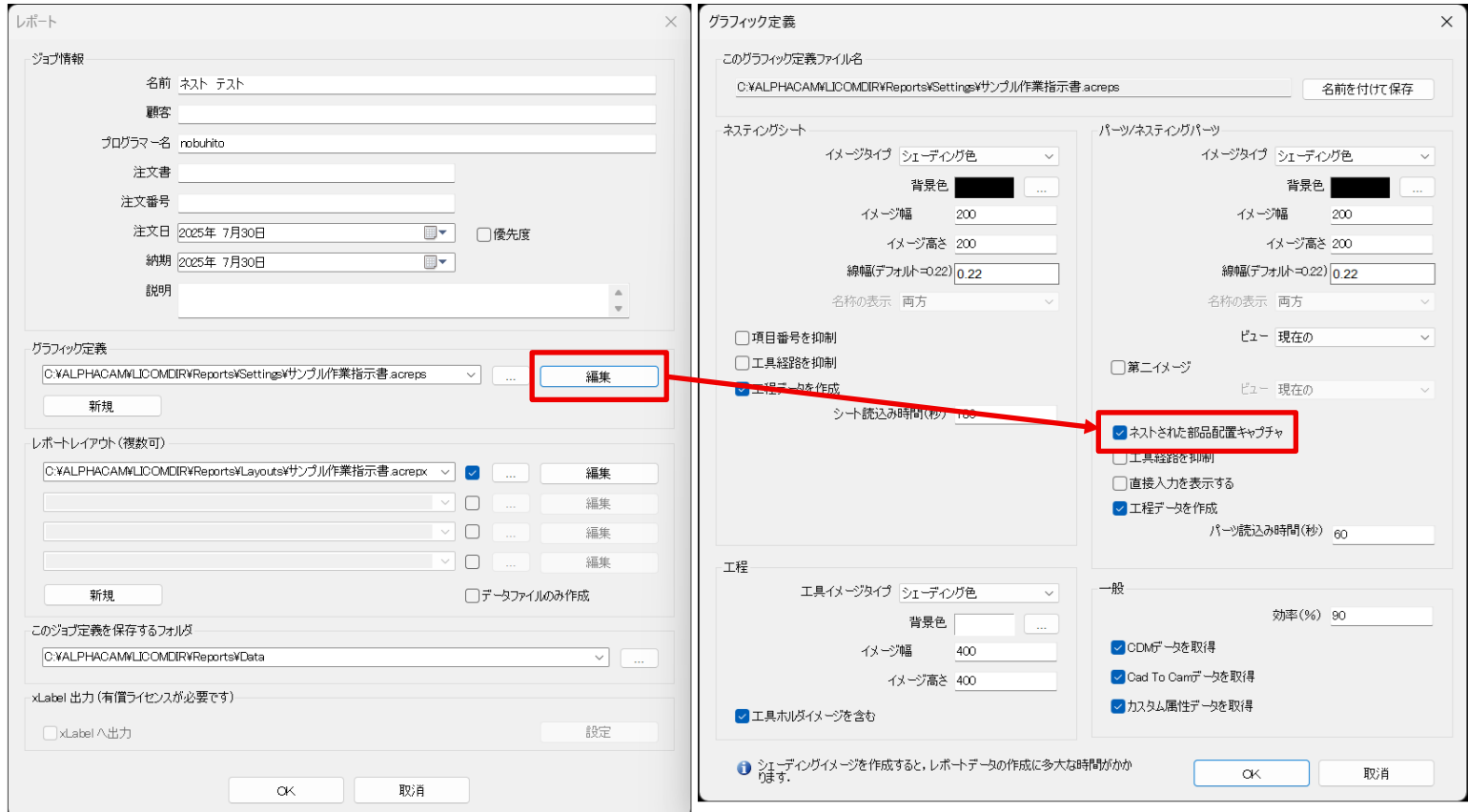
同一レイアウトのシートは一つだけ表示

厳密な部品の優先順位を強制する

レポートデザイナー

レポート - グラフィック定義 - ネストされた部品配置キャプチャ

レポートデザイナーのグラフィック定義にネストされた部品配置キャプチャが追加されました。このオプションはネストシート上に配置されたパーツのイメージを挿入する際に使用します。



The image shows two overlapping dialog boxes from the software interface.

レポート (Report Designer):

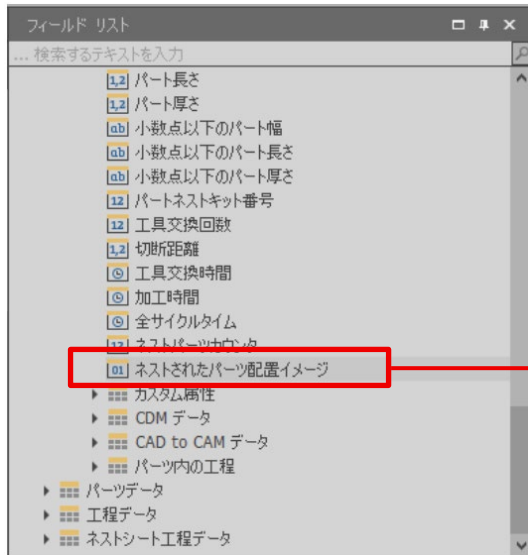
- ジョブ情報 (Job Information):** Includes fields for Name (ネスト テスト), Customer, Programmer (nobuhito), Order Number, Order Date (2025年 7月30日), and Due Date (2025年 7月30日).
- グラフィック定義 (Graphic Definition):** Shows a file path and a red-bordered **編集 (Edit)** button.
- レポートレイアウト (複数可) (Report Layout (Multiple)):** Lists multiple layout files with **編集 (Edit)** buttons. A red-bordered **編集 (Edit)** button is highlighted.
- このジョブ定義を保存するフォルダ (Save this job definition folder):** Shows a file path.
- xLabel 出力 (有償ライセンスが必要です) (xLabel Output (Paid license required)):** Includes a checkbox for xLabel output.


グラフィック定義 (Graphic Definition):

- このグラフィック定義ファイル名 (Graphic Definition File Name):** Shows a file path and a **名前を付けて保存 (Save with name)** button.
- ネ스팅シート (Nesting Sheet):** Includes settings for Image Type (シェーディング色), Background Color, Image Width (200), Image Height (200), Line Width (0.22), and Name Display (両方).
- パーツネ스팅パーツ (Part Nesting Parts):** Includes settings for Image Type (シェーディング色), Background Color, Image Width (200), Image Height (200), Line Width (0.22), Name Display (両方), and View (現在の).
- オプション (Options):**
 - 項目番号を抑制 (Suppress item numbers)
 - 工具経路を抑制 (Suppress tool paths)
 - エンジンデータを作成 (Create engine data) - This checkbox is highlighted with a red box.
 - ネストされた部品配置キャプチャ (Nested part assembly capture) - This checkbox is highlighted with a red box.
 - 第二イメージ (Second image)
 - 工具経路を抑制 (Suppress tool paths)
 - 直接入力を表示する (Show direct input)
 - エンジンデータを作成 (Create engine data)
- 一般 (General):** Includes Efficiency (%) set to 90.
- 取得するデータ (Data to be acquired):**
 - CDMデータを取得 (Acquire CDM data)
 - Cad To Camデータを取得 (Acquire Cad To Cam data)
 - カスタム属性データを取得 (Acquire custom attribute data)
- エンジン (Engine):** Includes settings for Image Type (シェーディング色), Background Color, Image Width (400), and Image Height (400).
- 工具ホルダイメージを含む (Include tool holder image)


A red arrow points from the **編集 (Edit)** button in the 'レポート' dialog to the **ネストされた部品配置キャプチャ (Nested part assembly capture)** checkbox in the 'グラフィック定義' dialog.

フィールドリストにネストされたパーツ配置イメージが追加されているので、これを使用すると下図のようなネスト後のシート内におけるパーツ配置を挿入することが出来ます。





ALPHACAM



HEXAGON

Job: ネスト Test

Customer:

PO: Due: 07/31/2025

シート A1

Material: アルミ合金

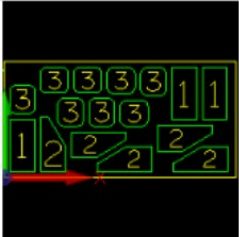
Width: 400




Length: 200

Thickness: 0

CycleTime (H:M:S): 0:00:00

Scrap %: 45



Part Name:	Part Index:	Qty in Sheet:	Part Image:
画面から 1	1	3	
画面から 2	2	5	
画面から 3	3	8	

ALPHACAM 2025.2 では 4 つのサンプルレイアウトが LICOMDIR\Reports\Layouts に追加されました。

- ① Full Sheet Reports\A4 (Metric)\Nested_Job_Sheet_Part_Report_BW_WithPartPlacementImage.acrepix
- ② Full Sheet Reports\Letter (Imperial)\Nested_Job_Sheet_Part_Report_BW_WithPartPlacement.acrepix
- ③ Sheet Labels\A4 (Metric)\100x30_Sheet_Parts_wBarcode_PartPlacement.acrepix
- ④ Sheet Labels\Letter (Imperial)\4x1.33_Sheet_Parts_wBarcode_BW_WithPartPlacement.acrepix

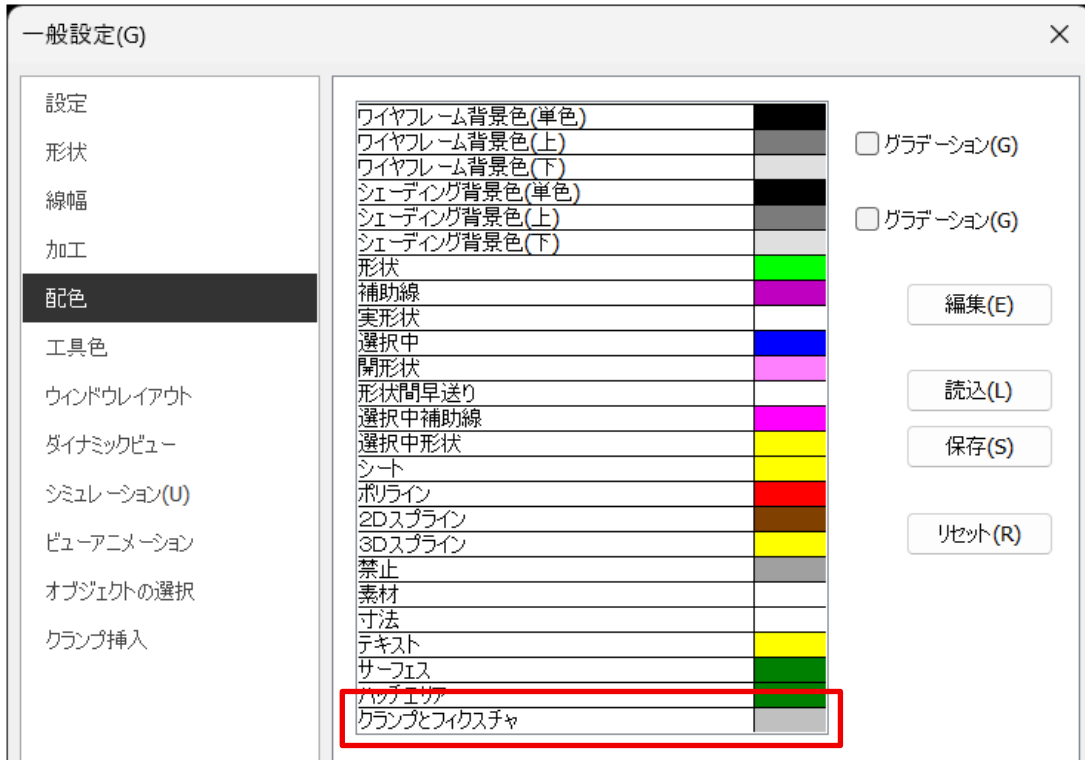
下図は③のサンプル (バーコードのみ修正)



一般設定

一般設定 - クランプとフィクスチャのレイヤ色

一般設定の配色にクランプとフィクスチャのデフォルトレイヤ色が追加されました。



注記: 上記レイヤ色は 2025.1 以前のバージョンで作成された図面に対しては適用されません

メンテナンスレポート

以下の不具合修正・機能改善が ALPHACAM 2026.1 で行われました。

ID	Description	Closing Notes
32313	Spline - Spline is not visible in the drawing area once it has been interacted with.	Fixed.
34161	Lead In Out - Rename I/O Auto Linked to I/O Auto Linked (Keep Tool Down).	Implemented.
34658	Join - Using Join All with a mix of Polylines and Geometry ends with Geometry being converted to Polylines.	Fixed.
38951	Simulation - Consider Tool profiles in the new Simulator.	Fixed.
42487	Wire - Auto Snap - Snap to Toolpaths - 2D View not suppressing questions.	Fixed.
44526	Quick Nest - Add to sysmacro.	Implemented.
45432	Time Study - Option to resize the window and retain the last used size.	Implemented.
45561	Nesting - Support tags - Rapid Z moves added when support tags are on a mirrored part.	Fixed.
45565	Simulation - Aggregate Head Collides with Material when Changing Machined Face.	Fixed.
45589	Nesting - Cut Inner Paths First - Incorrect Result on Multi-Level Engraved Toolpaths.	Fixed.
45647	Simulation - Machine Visibility Slider affects Simulator Part Visibility.	Fixed.
45664	Solid Simulator - Tolerance - Failed to transfer tool.	Fixed.
45672	Project Manager - Edit Clamp Definition is always active even when another dialog is open.	Fixed.
45724	Face Selector – Conical Chamfers Selection.	Fixed.
45770	Nesting - Quick Nest - Order of final path around part is incorrect when using Quick Nest.	Fixed.
45977	Solid Simulation - Transparency Sliders - Machine slider turns off black edge lines for Holders and Tools.	Fixed.
46009	Edit - Start Pt - Changing the Start point of a Circle twice does not work.	Fixed.
46086	Nesting from Screen - Speed up Parts with 3D machining.	Fixed.
46097	Update NCSIMUL 2026.1.	Implemented.
46107	Reports - Nested Part Placement Image - Works with Labels but not working on Layout Reports.	Fixed.
46184	Start Pt – Rename “Start Pt” to “Start Point”.	Implemented.
46246	Reports - Nested Part Placement Image Generation can terminate Report Generation.	Fixed.
46409	Installer - Default Configurations folder is not created during installation.	Fixed.
46473	Tool Directions - Polyline moving unexpectedly with Auto Start Point and ‘Middle of’ selection.	Fixed.
46475	Edit - Array - Select All selects Text on Work Planes.	Fixed.
46489	Installer - Rename NCSimul Option.	Implemented.
46511	Automation Manager - Machine Style Ordering List - Incorrect Multidrill Order.	Fixed.
46603	Installer - Link to What's new Highlights in Release Notes.	Added.
46636	Feature Extraction - Circular features cannot be extracted using edge-based extraction methods in 2025.4.	Fixed.
46648	Automation Manager - Deleting A Machining Order Does Not Update Job File Defaults.	Fixed.

46686	Nesting – Nesting removes Solid Face Layer.	Fixed.
46696	Reports - Empty Preview Image.	Fixed.
46708	Clamps using Solid Models no longer working in temp drawings.	Fixed.
46734	NC Output - Multiple Nested Sheet - Change in behaviour of Operations.Count.	Fixed.
46735	File - Save As ALPHACAM 2025.	Implemented.

サポートされている CAD ファイルバージョン

サポートされている CAD ファイルバージョン

- i** ソリッドモデルのインポートにはライセンスに **xSolids オプション**が必要です。
- i** Autodesk Inventor ファイルの読み込みには Autodesk Inventor®または Inventor® View™がインストールされている必要があります。Inventor® View™ は [Autodesk](#) からダウンロードできます

Translator and Version
ACIS R1 – 2026 1.0
Adobe Illustrator
Adobe PDF
ALPHACAM Designer Files
Autodesk Inventor 2026 i
Creo 12.4
DXF/DWG (AutoCAD 2025)
IGES (not version specific)
JT Open 10.10
NX Unigraphics UG11 – NX 2506
Parasolid 9.0 v38.0.217
Part Modeler (current)
PostScript
Rhino 7.0
SketchUp 2022
Solid Edge V18 – SE 2026(PAR and PSM files)
SOLIDWORKS 2026
Spaceclaim 2019 R1
STEP AP203/AP214/AP242 (preferred Schemas)
STL (not version specific)
VISI Version (current)

有償オプション

Translator and Version
Catia V4 4.1.9 - 4.2.4
CATIA V5 R8 - V5-6R2025
CATIA V6 Up to V6 R2025
Note: CATIA V6 users should export their database objects as CATIA V5 CATParts or CATProducts.

必要システム構成

ALPHACAM2026.1 を使用する場合の必要システム構成一覧は以下の通りです。

コンポーネント	推奨構成	最小構成
CPU	Intel Core i7 or i9 (第 12 世代以降) or AMD Ryzen 7 or Ryzen 9	Intel Core i5 (第 10 世代以降) or AMD Ryzen 5
RAM	32 GB DDR5	8 GB DDR4
ROM	1 TB NVMe SSD	256 GB SSD
GPU	NVIDIA RTX (Workstation/Quadro range) or AMD Radeon Pro (6–16 GB VRAM)	NVIDIA Quadro or AMD Radeon Pro (2–4 GB VRAM)
ディスプレイ	1920×1080 (Full HD) or 2560×1440 (2K) or 3840×2160 (4K) IPS モニター, 27 インチ以上	1920×1080 (Full HD)
マウス	3 ボタン Windows 互換マウス(ホイール付き 2 ボタン等) 3D マウス (SpaceMouse 等)	ホイール付き 2 ボタン Windows 互換マウス
OS	Windows 11 Pro (64-bit)	Windows 11 Pro (64-bit)

オペレーティングシステム(OS)

ALPHACAM 2026.1 は 64 ビット Microsoft Windows 11 Professional に対応しており、Windows11 の最新サービスパックのインストールを推奨します。Windows11 Home 版にインストールは可能ですが、Home 版に限定された内容での不具合対応は保証できないため推奨しません。

Microsoft .NET Framework

Microsoft .NET Framework 4.7.2 以上が必要です。

.NET Framework のバージョン詳細については Microsoft の [Versions and Dependencies](#) をご確認ください。

.NET Framework のインストール時注意事項:

- セキュリティーキーが挿入されている場合、最新のセキュリティーキードライバに更新してください
- GPU メーカーから提供されているドライバで問題が発生した場合、メーカーHP にてドライバのアップデートをご確認ください。

グラフィック

映像処理専用の GPU メモリ (VRAM) が搭載されたグラフィックカードが必要です。
また、WHQL 認証で OpenGL 3.3 以上をサポートしている必要があります。
推奨のグラフィックカードは以下を参照してください。

- ・ NVIDIA Quadro (販売終了) または RTX Workstation シリーズ (<http://www.nvidia.co.uk/Download/index.aspx?>)
- ・ AMD Radeon Pro シリーズ (6~16GB VRAM) (<https://www.amd.com/en/support>)

注記：上記の一部グラフィックカードはサポートが終了している可能性があります。お使いの OS に対応する最新のドライバが利用可能かメーカーへご確認ください。上記以外のグラフィックカードでも正常に動作する可能性はありますが推奨しません。また、[NVIDIA Geforce RTX](#) シリーズはゲーミング用で非推奨である点にご注意ください。

ROM

ALPHACAM のインストールには 10GB 以上のディスク空き容量が必要です。

ネットワーク接続環境

- ライセンスアクティベーション/アップデート時のインターネット接続
- ネットワークカード (ネットワークライセンス使用時の TCP/IP)

ライセンスアクティベーション

Sentinel RMS ライセンスマネージャ (ライセンスサーバ) は、Windows 10 および Windows Server 2016 以降 (最新リリースを含む) でシステムサービスとして実行されます。Sentinel RMS ネットワークライセンスは、コンピュータ ID キー (USB キー) にロックされている場合、仮想サーバにインストールできます。

注記：Sentinel RMS ライセンスマネージャは Windows 7 および Windows 8.1 にインストールできますが、これらのオペレーティングシステムは Microsoft によってサポートされなくなったため推奨しません。スタンドアロン Sentinel RMS ライセンスは仮想サーバで使用するためにコンピュータ ID キーに対してロックすることはできません。

インストール

ログオンしている Microsoft アカウントの権限が制限されている場合や管理者ではない場合、同一 PC に複数のバージョンの ALPHACAM をインストールした際に問題が発生する可能性があるため推奨しません。

WEB ブラウザ

Microsoft Edge, Google Chrome を推奨します。

Windows ARM

ALPHACAM は Windows ARM のサポートを終了しました。

ALPHACAM のインストール

ALPHACAM のインストールに関しては以下を参照してください。

1: システムとハードウェア要件を確認

インストールする PC が **必要システム構成** に記載されているスペックを満たしていることをご確認ください。
注記：ALPHACAM 2026.1 を実行するには、ライセンスのメンテナンス有効期限が 2025 年 3 月以降である必要があります。

2: 管理者アカウントでログイン

インストール時は管理者権限をもつ Microsoft アカウントでログインしてください。

3: ALPHACAM のダウンロード（インストール用 USB が無い場合のみ）

1. WEB ブラウザで [Hexagon Customer Portal](#) にアクセス
2. ユーザ名とパスワードを入力してサインイン
(アカウント未作成の初回サインイン時はライコムシステムズへご連絡ください)
3. ダウンロード→ソフトウェアを選択
4. ページ下部の ALPHACAM 2026.1 の詳細を展開
5. **ALPHACAM 2026.1.zip** をクリックして任意のフォルダへダウンロード後に解凍

4: ALPHACAM のインストール

1. ALPHACAM 2026.exe を右クリック→管理者として実行
(インストール時はセキュリティソフトを一時的に無効に設定してください)
2. このアプリがデバイスに変更を～...のメッセージが表示された場合、「はい」を選択
3. インストールする言語を選択
4. 使用許諾契約書の内容確認後、「同意する」を選択
5. 「Hexagon カスタマーエクスペリエンスプログラムに参加」では ALPHACAM の改善に協力し使用状況データを Hexagon Manufacturing Intelligence に送信する設定を行います。この設定はインストール後に ALPHACAM 内から変更可能で参加は任意です。詳細については Hexagon カスタマーエクスペリエンス改善プログラムの [Web サイト](#)をご確認ください。
[Hexagon Customer Experience Improvement Program](#)
6. 必要に応じて追加でインストールする項目を選択
 - **Aspire for ALPHACAM**（有償 CAD ソフト）
 - **NCSimul Essential**（切削精度の確認に使用する無償シミュレータ）
 - サンプルファイルとユーティリティをインストールする（サンプル図面や各開発環境における API 等を指定したフォルダにインストール）
 - PC のデスクトップ上に ALPHACAM のショートカットを作成

7. 「システムフォルダ」にて下記のフォルダの作成場所を指定
特に指定がない場合はデフォルト設定のままで構いません。
前バージョンの ALPHACAM がインストール済みの場合は既存の設定を参照します。
 - **LICOMDAT** (工具データ等のフォルダ) : C:\ALPHACAM
 - **LICOMDIR** (図面データ等のフォルダ) : C:\ALPHACAM
 - サンプルファイルとユーティリティ: C:\Users\Public\Documents\ALPHACAM\2026.1
(前頁で”サンプルファイルとユーティリティをインストールする”を選択した場合のみ)
8. 「インストール」を選択

ALPHACAM のアップデート

PC がインターネットに接続している場合、Hexagon Universal Updater を使用して ALPHACAM のアップデートの有無を確認できます。Hexagon Universal Updater のスタートアップが有効で、ALPHACAM やその他の使用中 Hexagon 製品のアップデートが利用可能である場合に、タスクバーの Windows 通知領域に通知が表示されます。通知をクリックすると Hexagon Universal Updater が起動し、任意の Hexagon 製品のアップデートを行うことができます。

手動で Hexagon Universal Updater を起動する場合は Windows スタートメニューから Universal Updater を検索して起動してください (C:\ProgramData\Microsoft\Windows\Start Menu\Programs\Universal Updater 1.5 64-bit)

注記 : 前頁の [Hexagon Customer Portal](#) も含め、ライコムシステムズが提供する USB 以外の方法で ALPHACAM をインストール/アップデートした場合、ライコムシステムズが作成した日本ユーザー向けの無償アドインコマンドや新機能紹介 PDF がコピーされない点についてご注意ください。
また、インストール/アップデートのタイミングによっては ALPHACAM の言語ファイルが最新ではない場合があります(未翻訳のワードが残っているなど)

お問い合わせ

ALPHACAM 2026.1 商用版をご利用で詳細情報や技術サポートをご希望の場合はライコムシステムズまでお問い合わせください。

また、Hexagon Customer Portal のアカウントを作成済みの場合は hexagon.com/support-success/manufacturing-intelligence/production-support から Hexagon テクニカルサポートにお問い合わせいただくことも可能です。